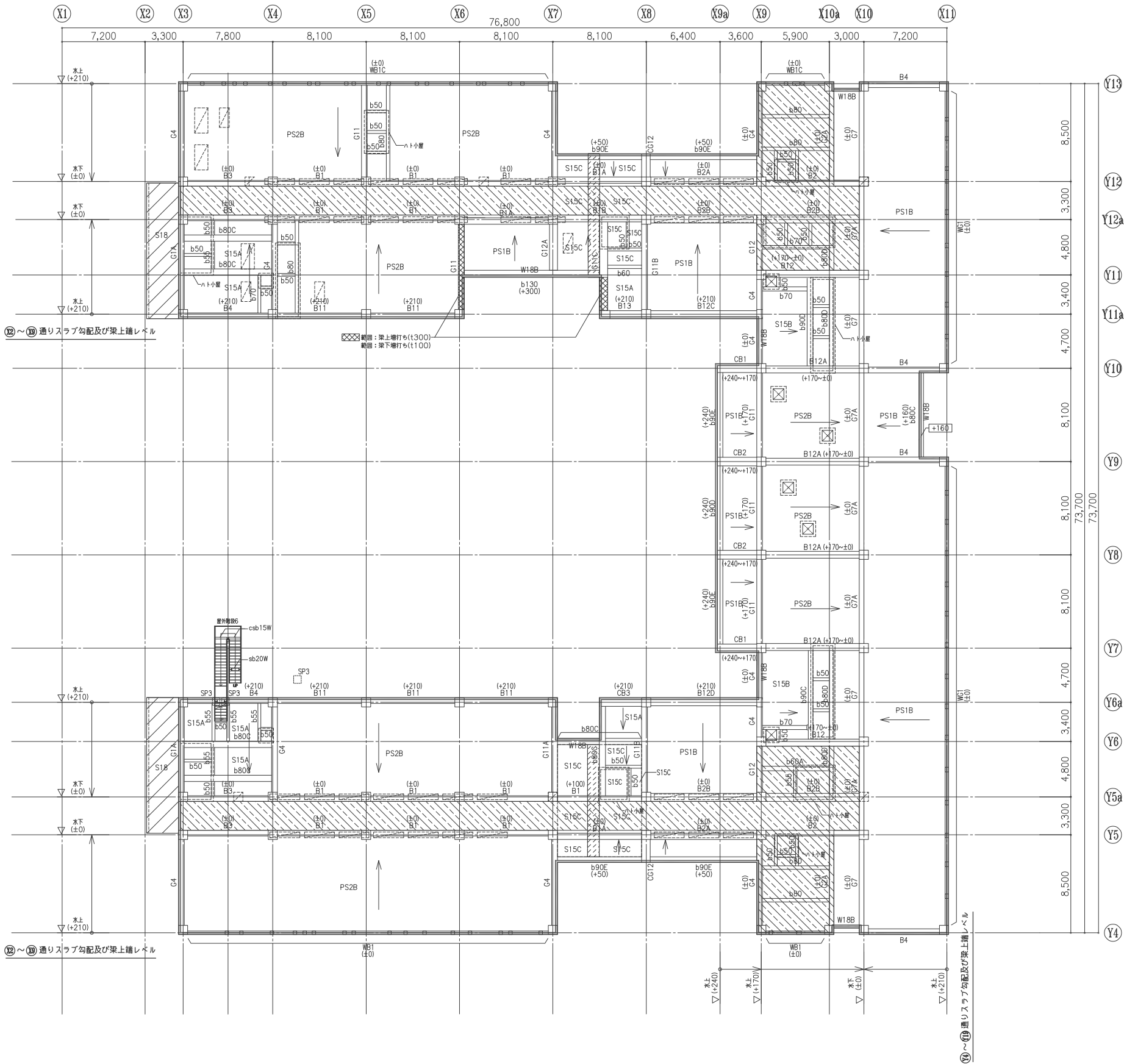
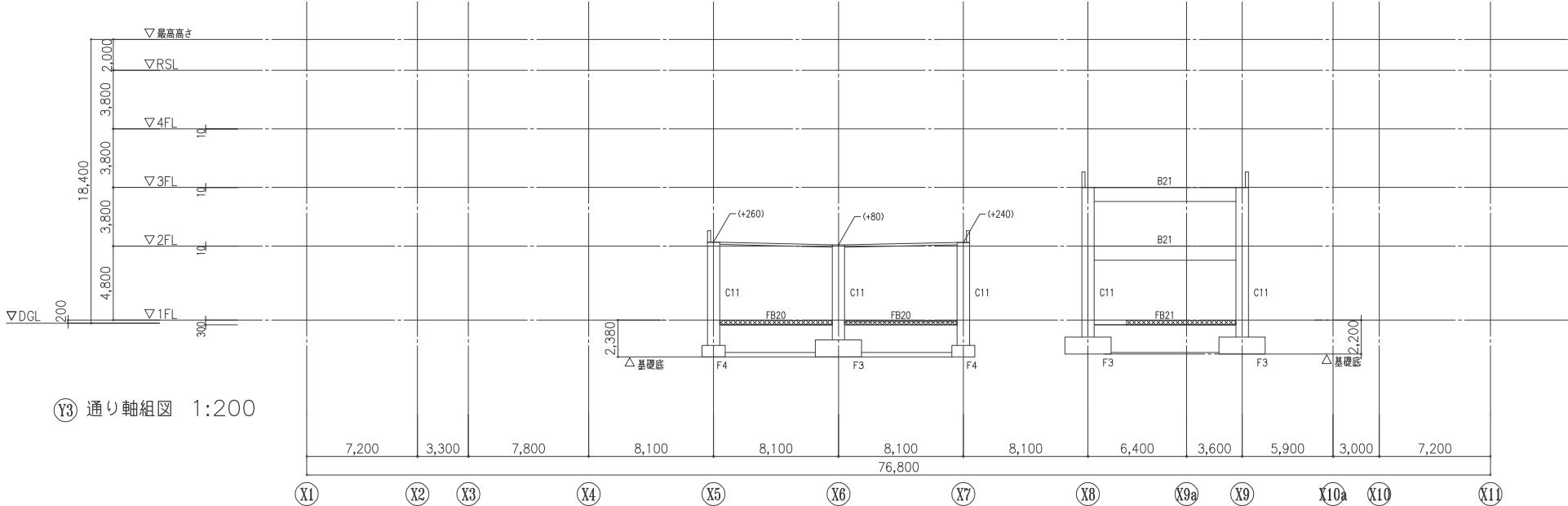


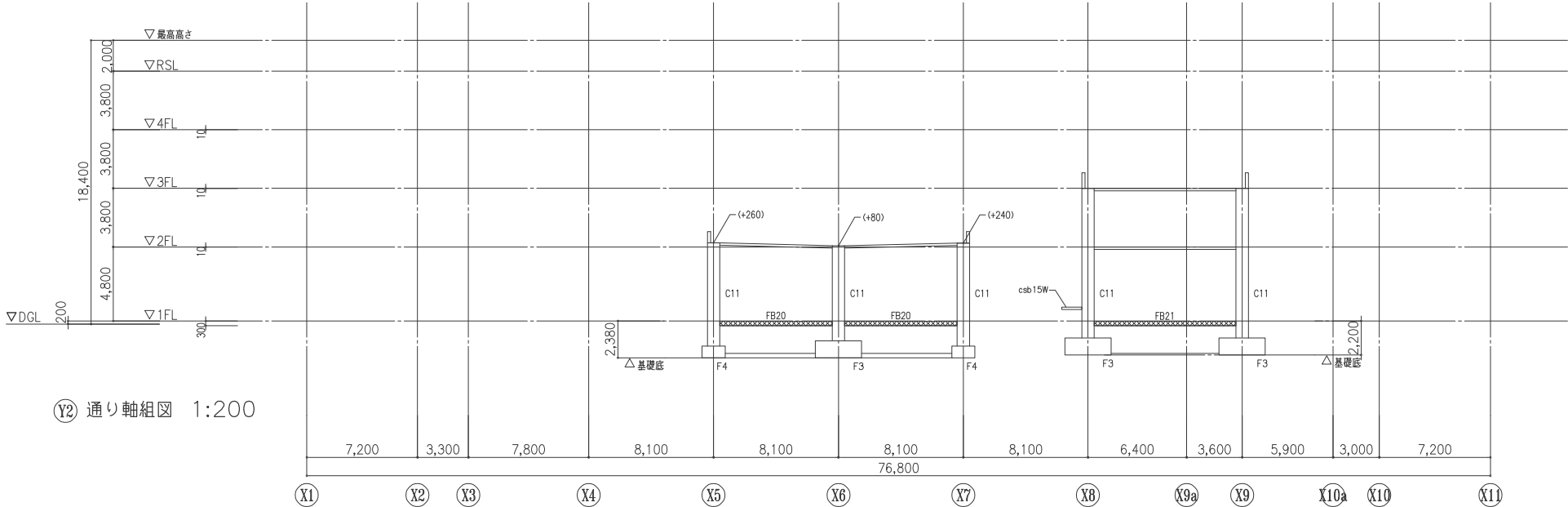
R階梁伏図 1:200

- 共通事項
- 特記なき限り下記による。
- RC大梁上端レベル：レベルはRSLからとし、図中のレベル及び勾配とする
 - RSL=RFLとする。
 - ()内数値は、梁上端レベルを示す。
 - スラブ上端レベルは下記による。
- | | |
|--|---------------------------|
| | レベルはRSLからとし、図中のレベル及び勾配とする |
| | S/L ±0 |
| | 4FL+3100(RSL-700) |
4. スラブ符号： S15
- 範囲はあと施工範囲を示す。
- (収縮ひび割れ対策：範囲外の打設4週後に打設する)
- ()内数値は、RSLからのスラブレベルを示す。
 - は勾配スラブの下がり方向を示す。
 - 壁符号： W18とし、RSL+2000までの立ち上がりとする。
 - 壁符号： W18Bの箇所はRSL+900までの立ち上がりとする。
 - は、設備基礎を示す。
 - 設備鉄骨架台位置は別図に示す。
 - PC床版のリップ下端が取り付く梁下端よりレベルが低い場合は梁下を増し打ちすること。

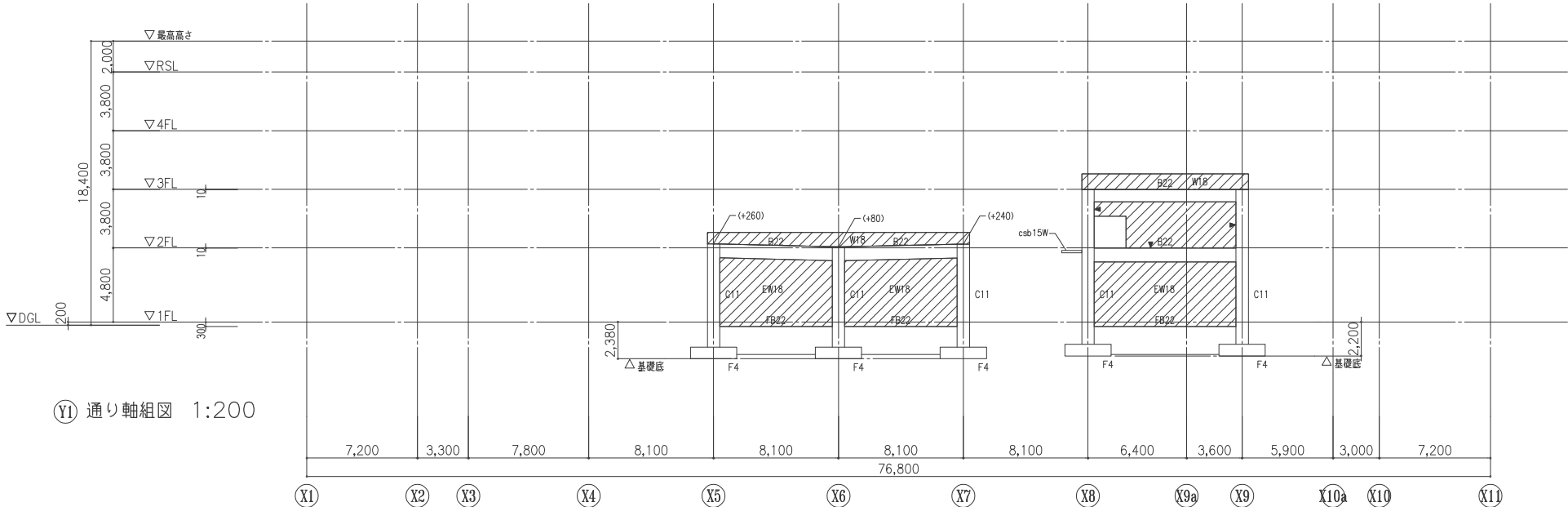




Y3 通り軸組図 1:200

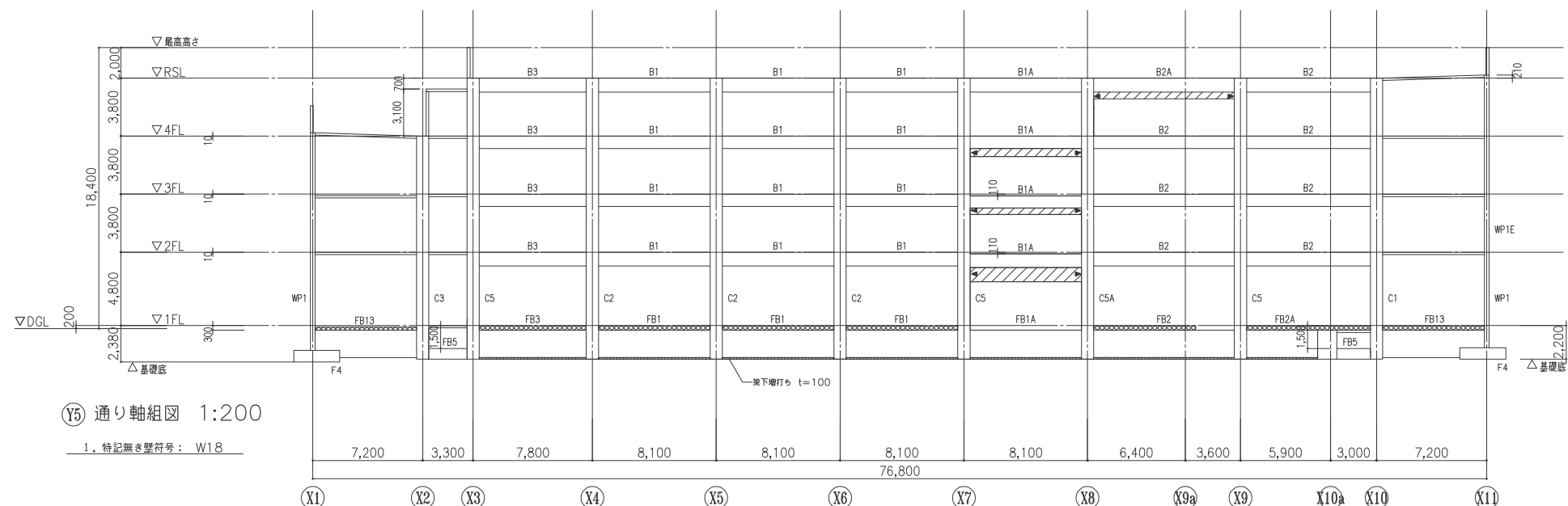
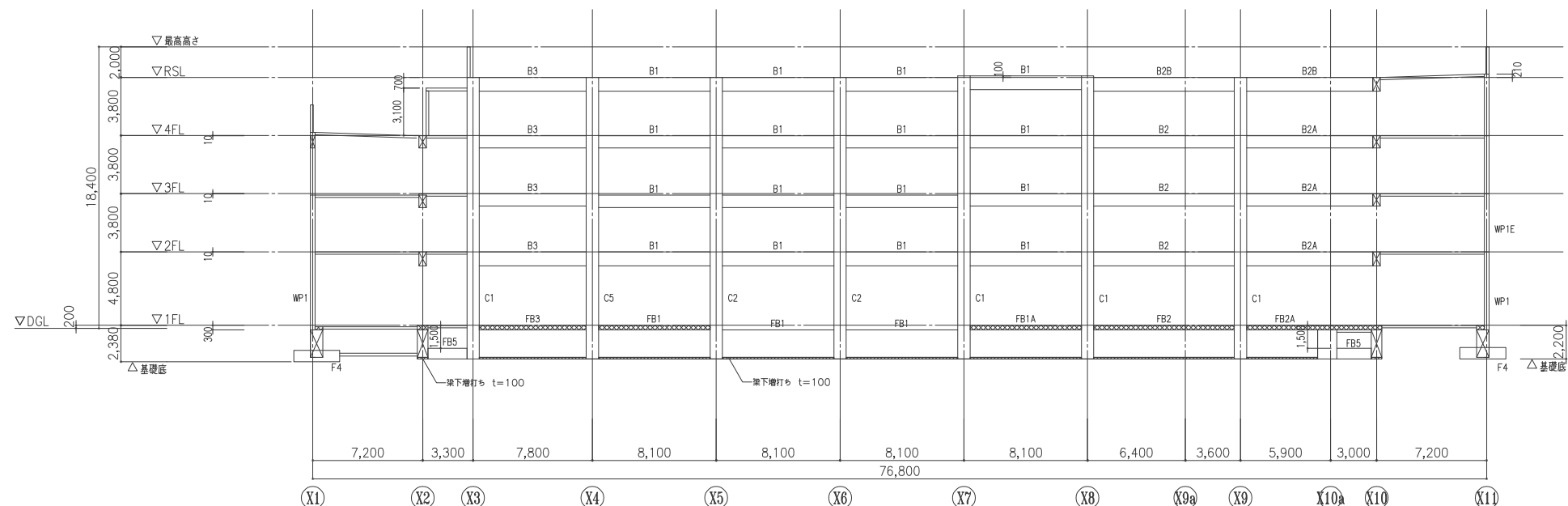


Y2 通り軸組図 1:200

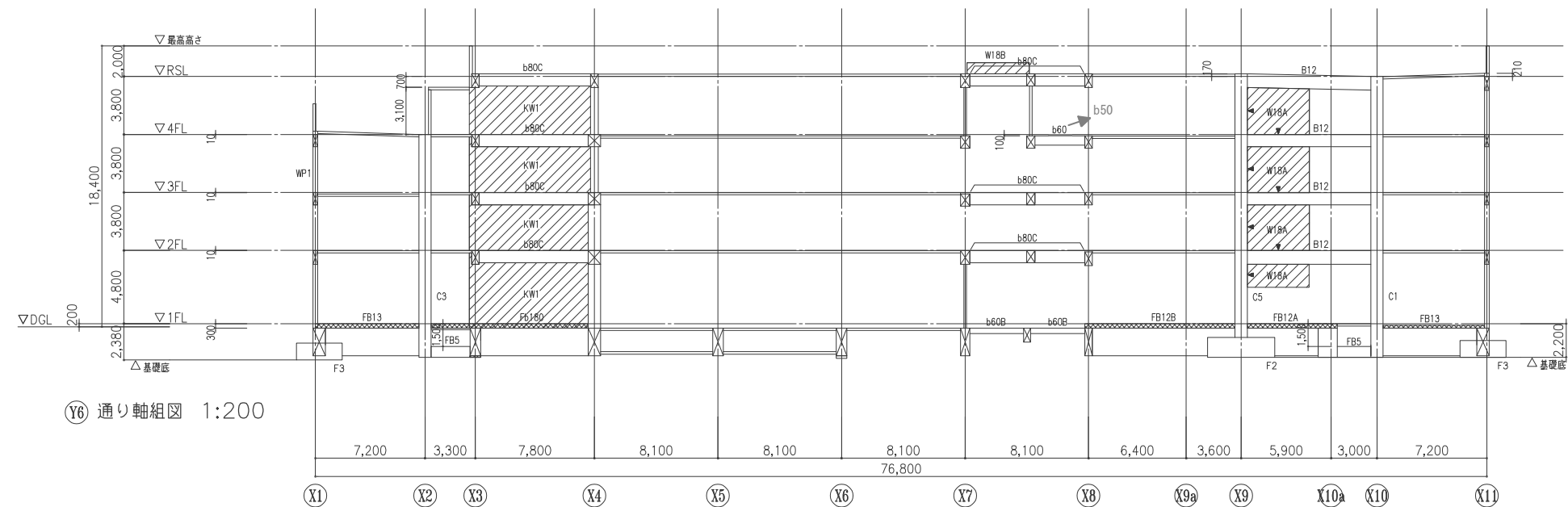
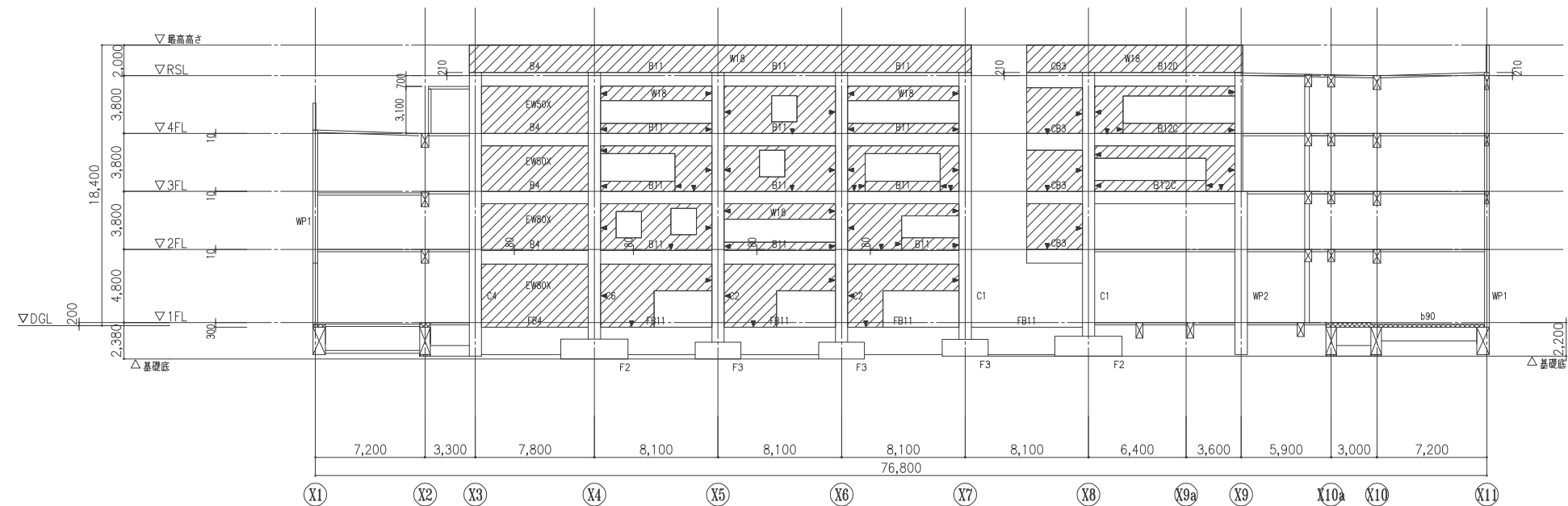
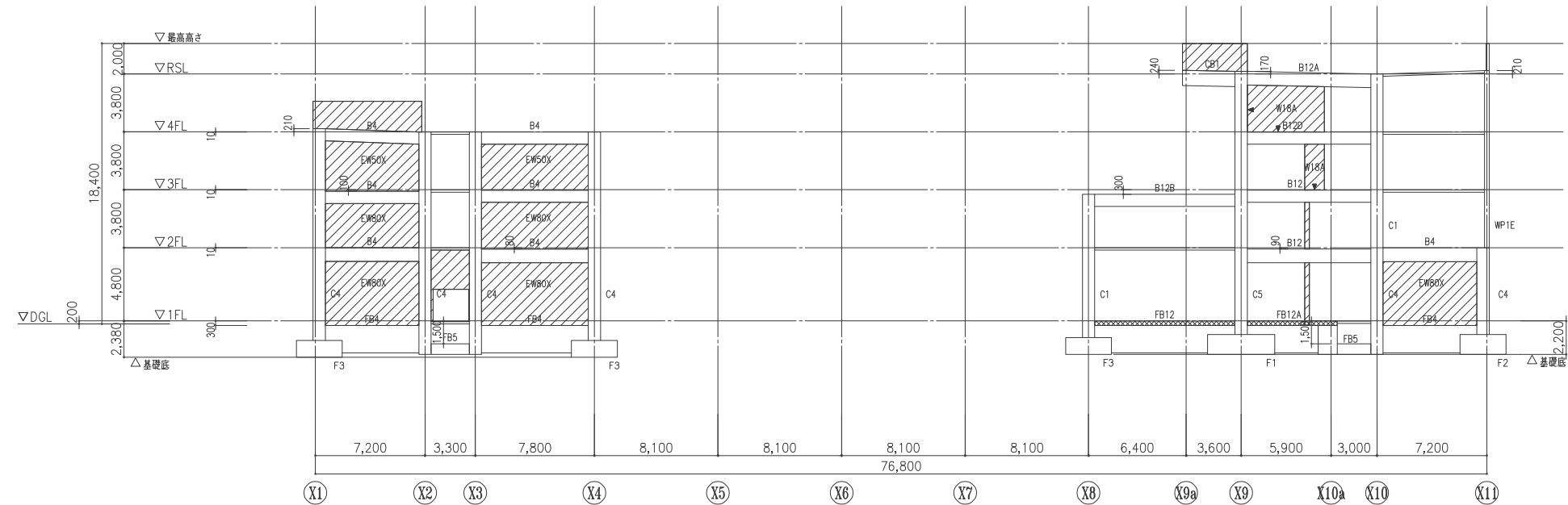


Y1 通り軸組図 1:200

共通事項
特記なき限り下記による。
1. ▼印は構造スリットを示す。スリット幅は30mmとする。
2. 斜線は増打ちを示す。
3. 斜線は基礎梁上増打ちを示し、スラブレベルまでとする。
4. 壁符号：W18A



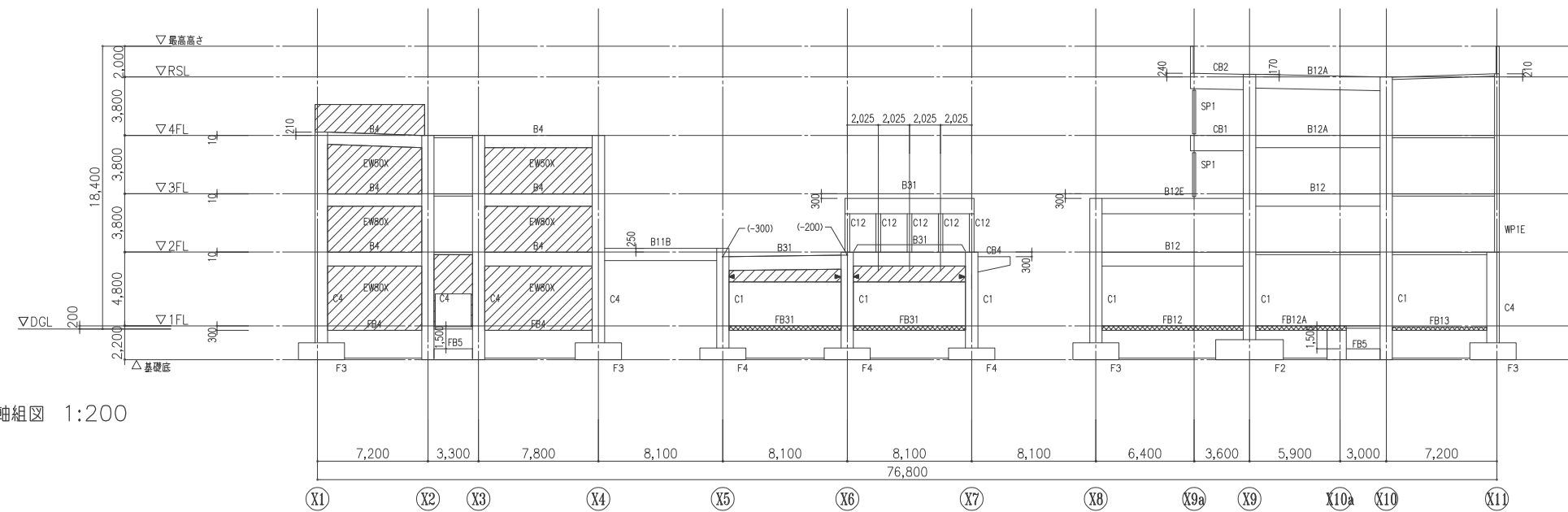
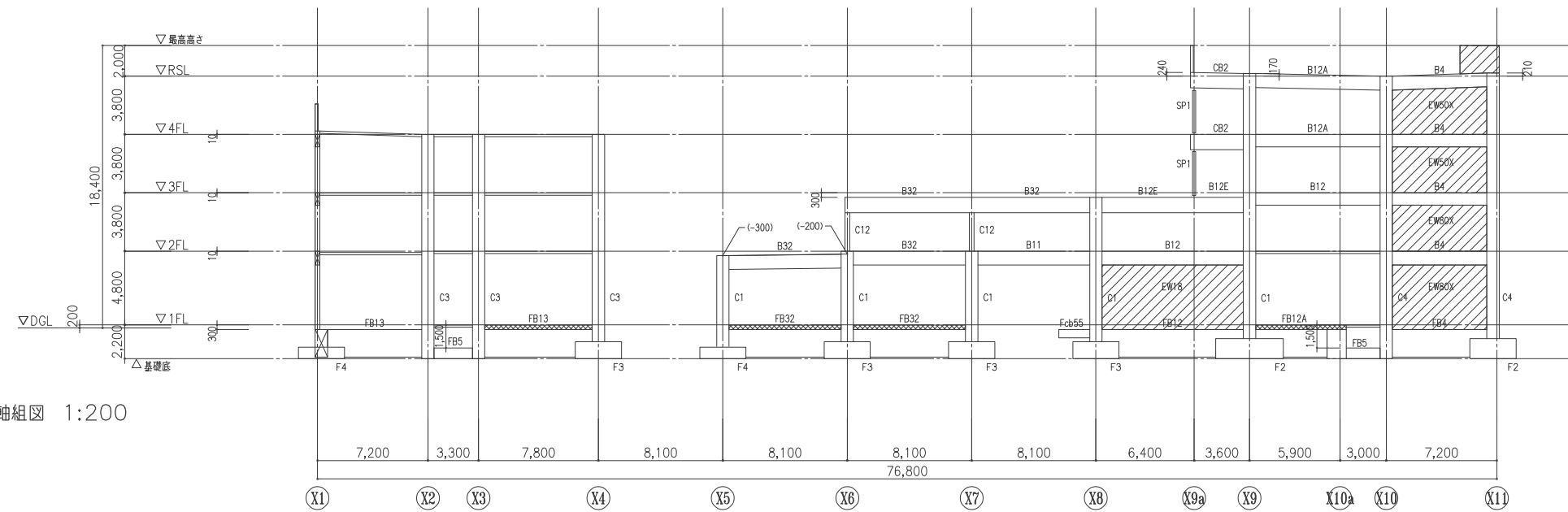
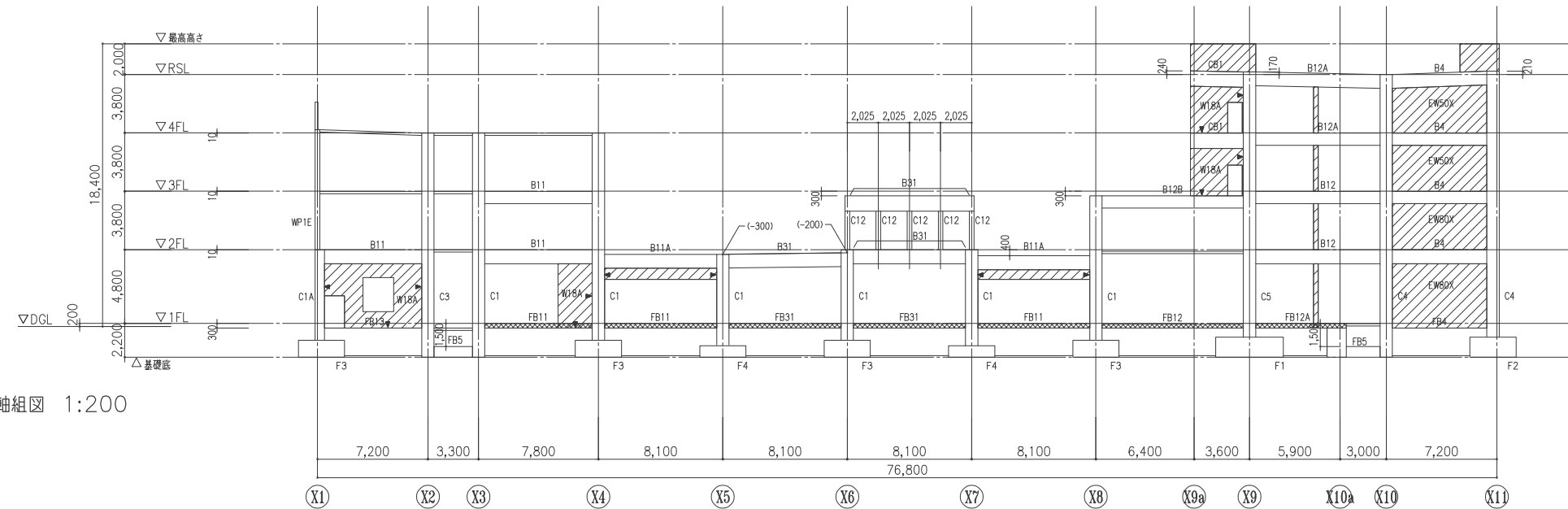
1. 特記無差壁符号: W30
2. 特記無差壁柱符号: WP1



共通事項

- 特記なき限り下記による。
- | |
|---|
| 1. ▼印は構造スリットを示す。スリット幅は30mmとする。 |
| 2.  は増打ちを示す。 |
| 3.  は基礎梁上増打ちを示し、スラブレベルまでとする。 |
| 4. 壁符号： W18 |

訂正	・				件名	岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校 校舎新築(建築)工事	
	・				図面名称	軸組図-3	図面番号
	・					A1版1:200 A3版1:400	S-051
	・						
	・						



共通事項

特記なき限り下記による。

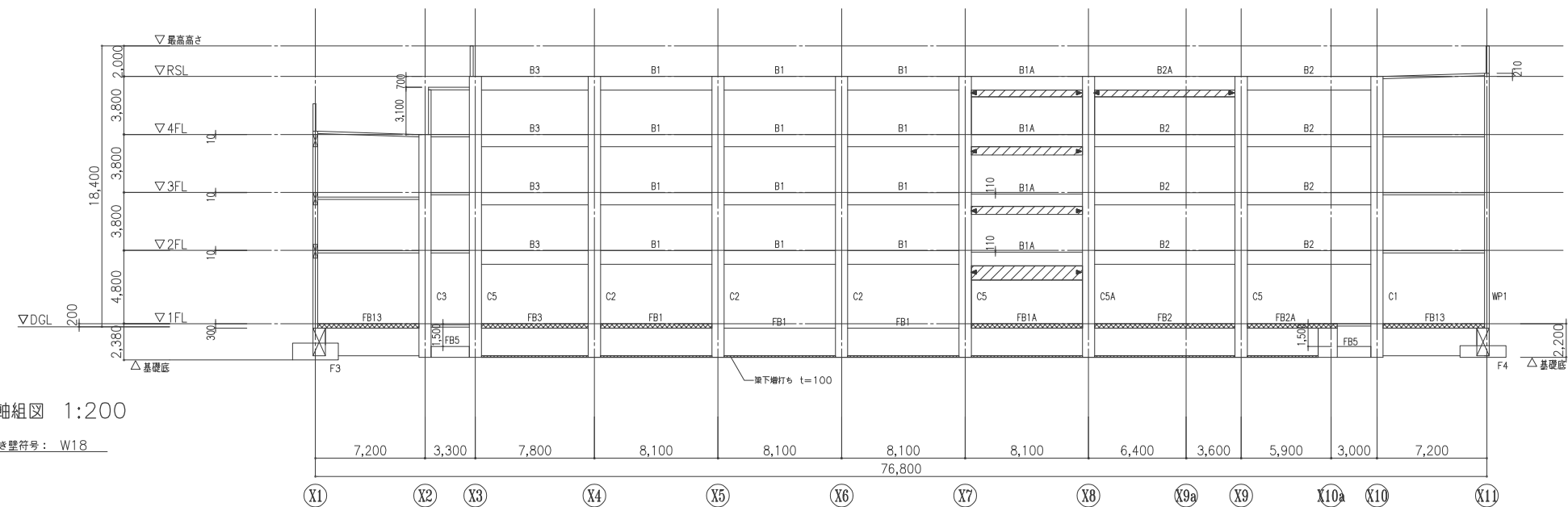
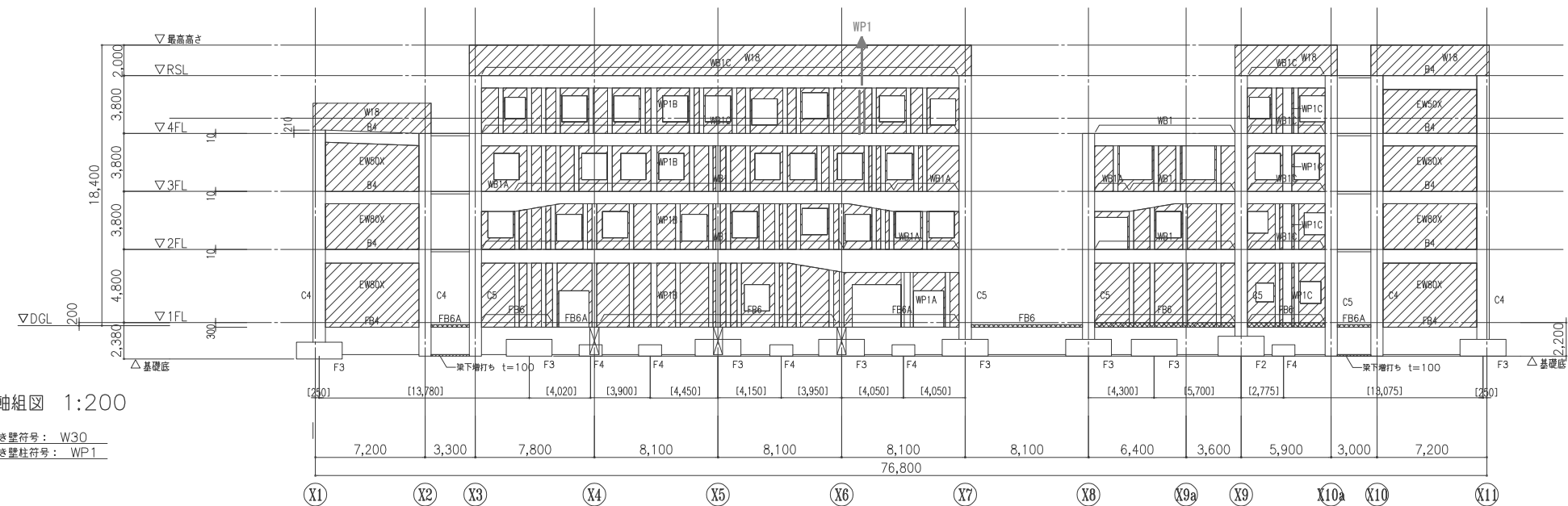
1. ▼印は構造スリットを示す。スリット幅は30mmとする。

2. は増打ちを示す。

3. は基礎梁上増打ちを示し、スラブレベルまでとする。

4. 壁符号: W18

訂正	・				件名	岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校 校舎新築(建築)工事		
	・				図面名称	軸組図-4	縮尺 A1版 1:200 A3版 1:400	図面番号 S-052
	・							
	・							
	・							



共通事項

特記なき限り下記による。

1. ▼印は構造スリットを示す。スリット幅は30mmとする。

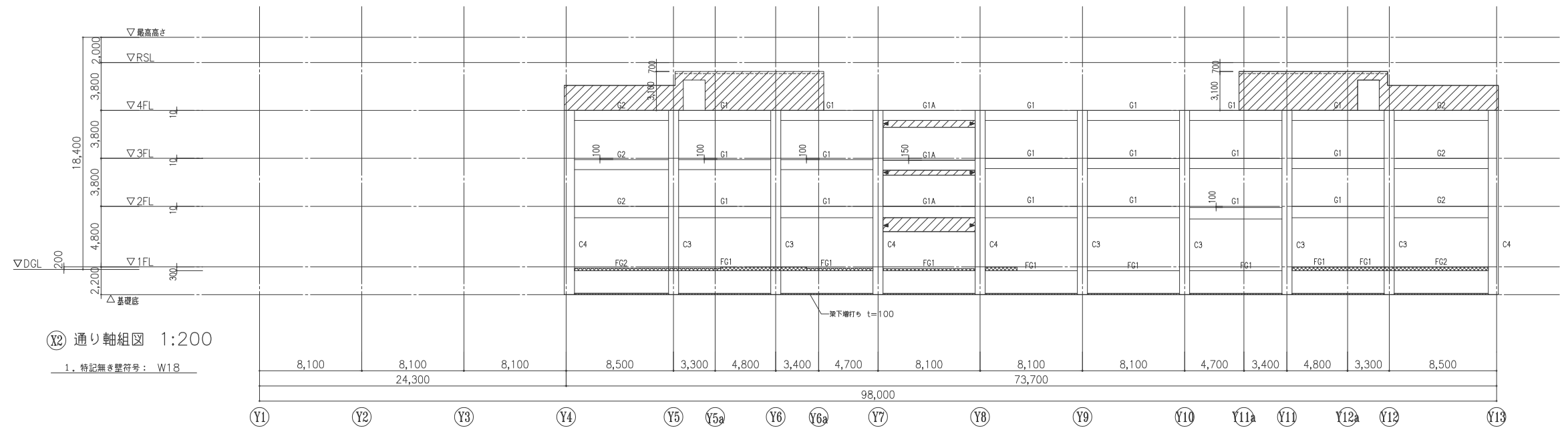
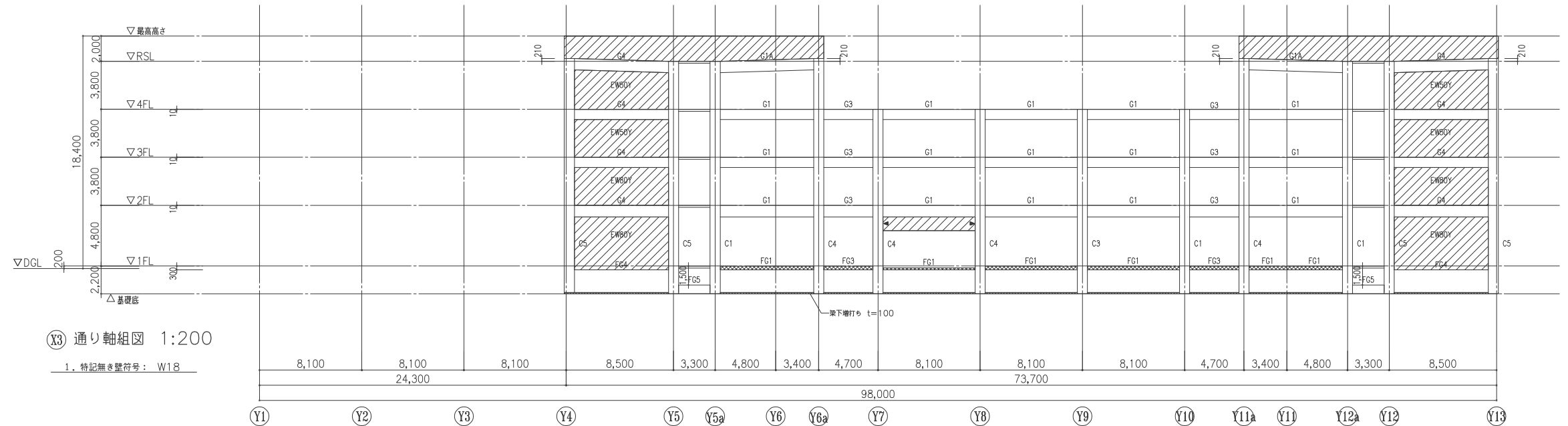
2. は増打ちを示す。

3. は基礎梁上増打ちを示し、スラブレベルまでとする。

4. 壁符号: W18

1. 特記無き壁符号: W18

訂正	・				件名	岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校 校舎新築(建築)工事		
	・				図面名称		縮尺	図面番号
	・				軸組図-6		A1版1:200 A3版1:400	S-054
	・							
	・							



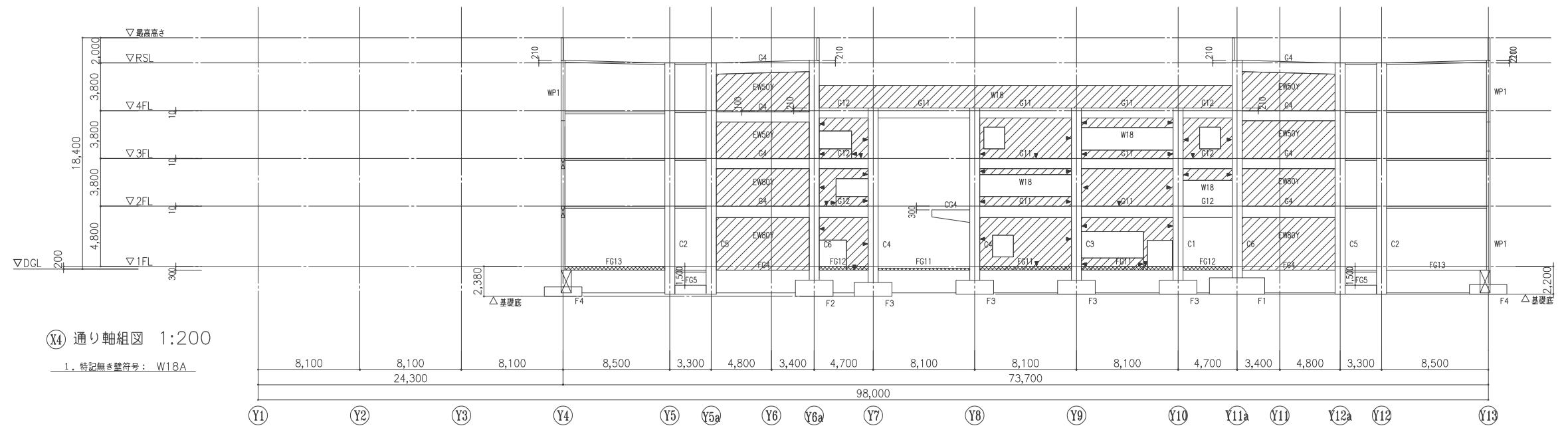
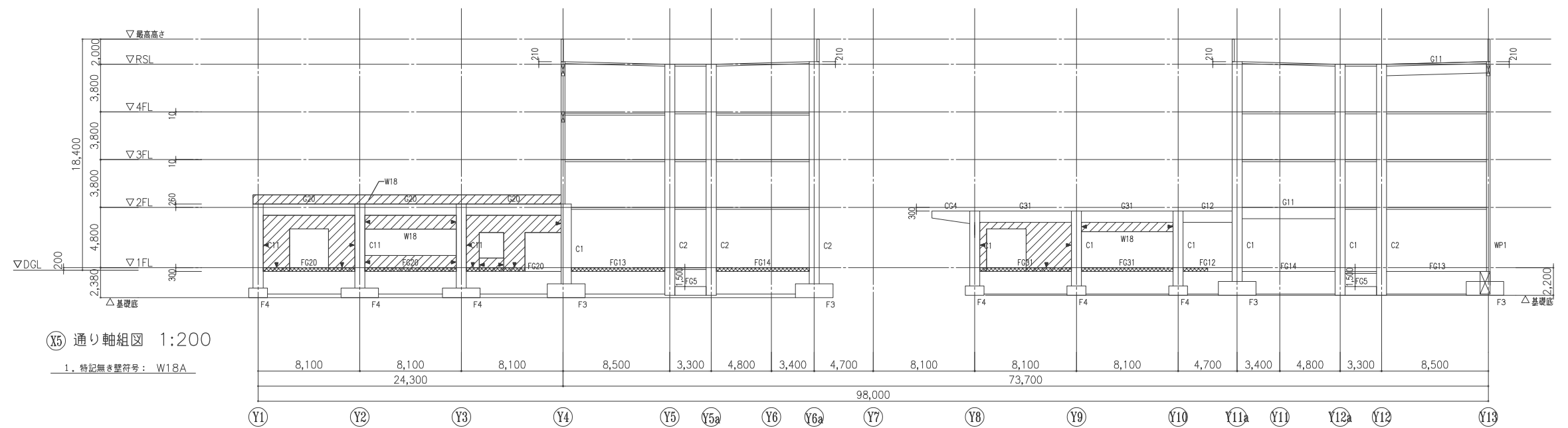
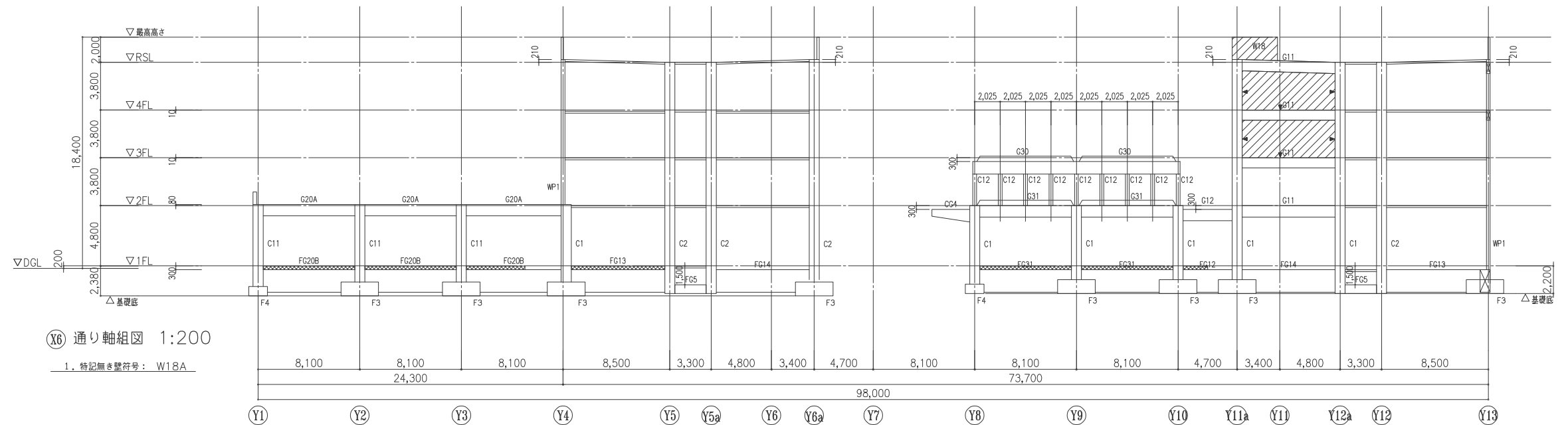
共通事項

特記なき限り下記による。

1. ▼印は構造スリットを示す。スリット幅は30mmとする。
2. は増打ちを示す。
3. は基礎梁上増打ちを示し、スラブレベルまでとする。
4. 壁符号: W18

1. 特記無き壁符号: W30
2. 特記無き壁柱符号: WP1

2. 特記無き壁柱符号: WP1



共通事項

特記なき限り下記による。

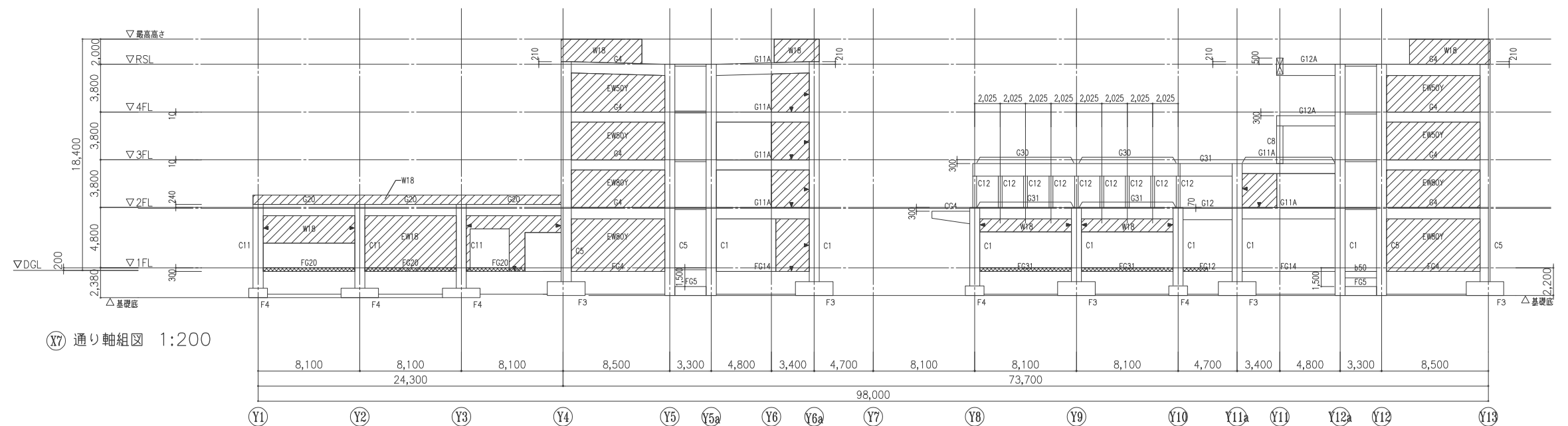
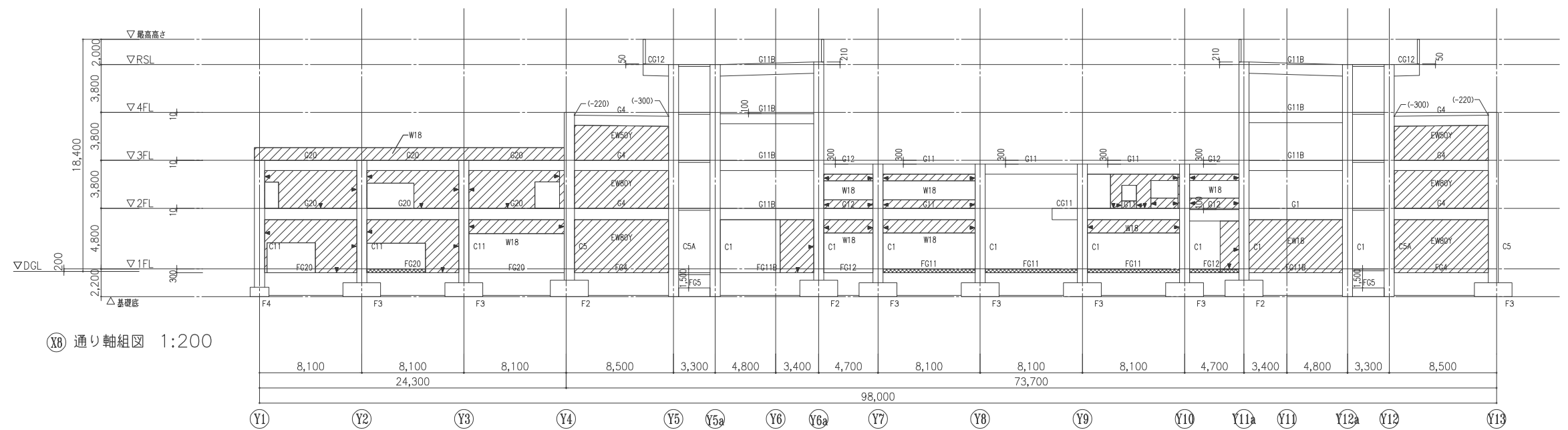
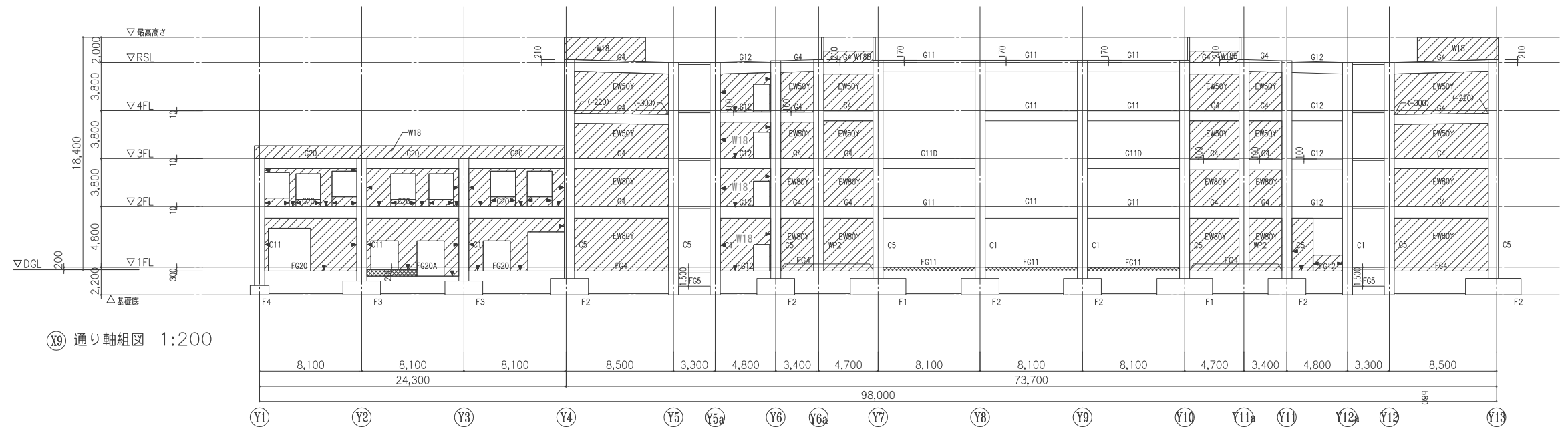
1. ▼印は構造スリットを示す。スリット幅は30mmとする。

2. は増打ちを示す。

3. は基礎梁上増打ちを示し、スラブレベルまでとする。

4. 壁符号: W18

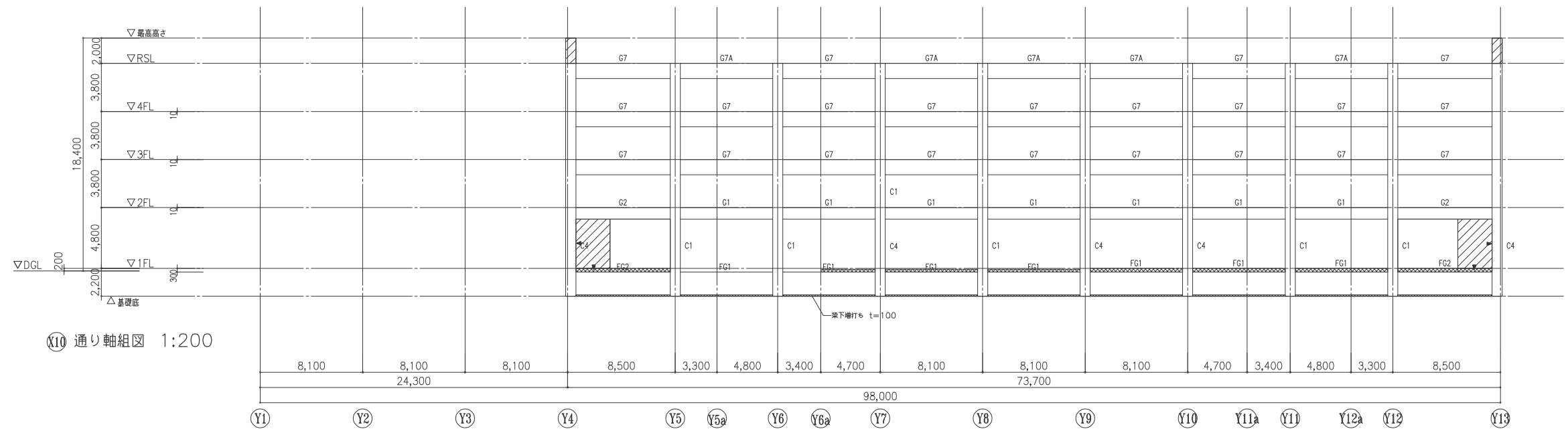
訂正	・					件名	岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校 校舎新築(建築)工事		
	・					図面名称	軸組図-8	縮尺 A1版 1:200 A3版 1:400	図面番号 S-056
	・								
	・								
	・								



共通事項

- 特記なき限り下記による。
1. ▼印は構造スリットを示す。スリット幅は30mmとする。
 2.  は増打ちを示す。
 3.  は基礎梁上増打ちを示し、スラブレベルまでとする。
 4. 壁符号： W18A

訂正	・				件名	岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校 校舎新築(建築)工事		
	・				図面名称	軸組図-9	縮尺 A1版 1:200 A3版 1:400	図番番号 S-057
	・							
	・							
	・							



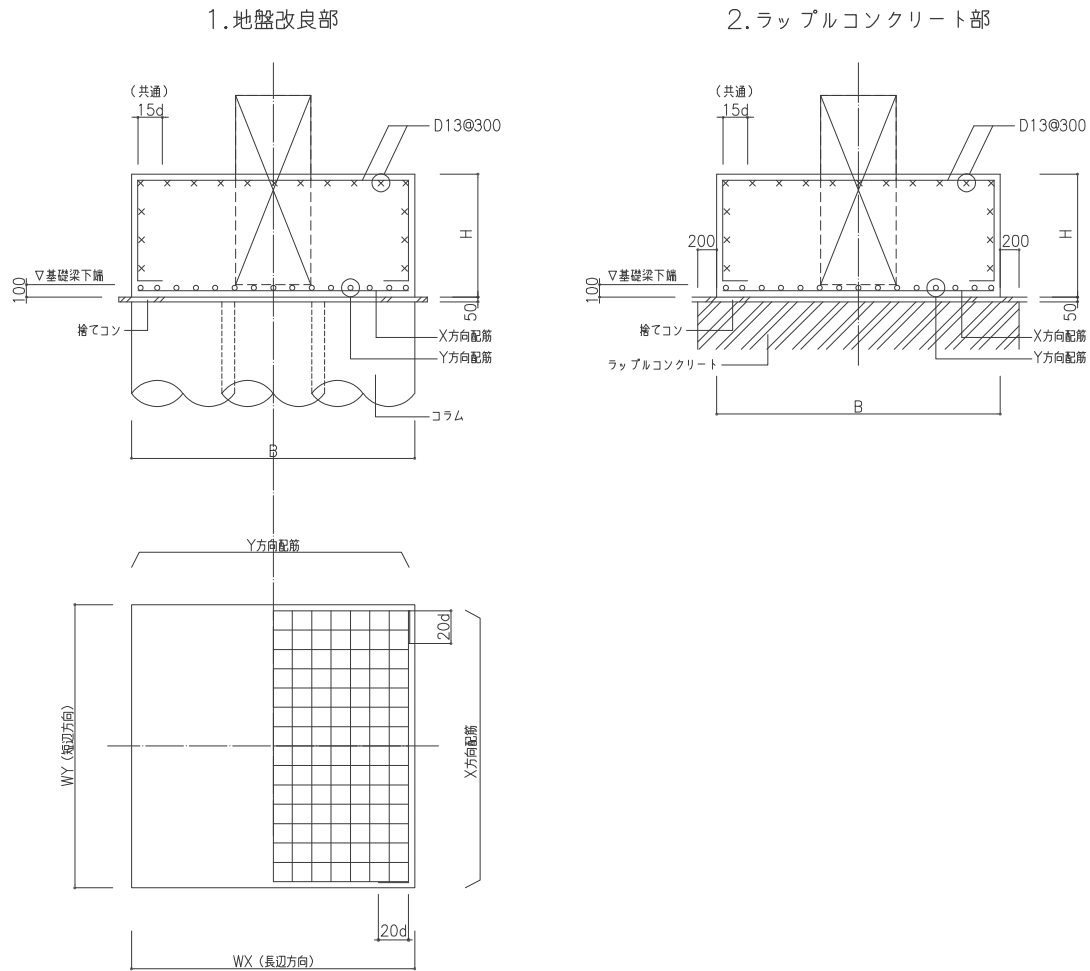
共通事項

特記なき限り下記による。

1. ▼印は構造スリットを示す。スリット幅は30mmとする。
2.  は増打ちを示す。
3.  は基礎梁上増打ちを示し、スラブレベルまでとする。
4. 壁符号： W18A

訂正	・				件名	岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校 校舎新築(建築)工事		
	・				図面名称	縮尺	図面番号	
	・				軸組図-10	A1版 1:200 A3版 1:400	S-058	
	・							
	・							
	・							

基礎リスト

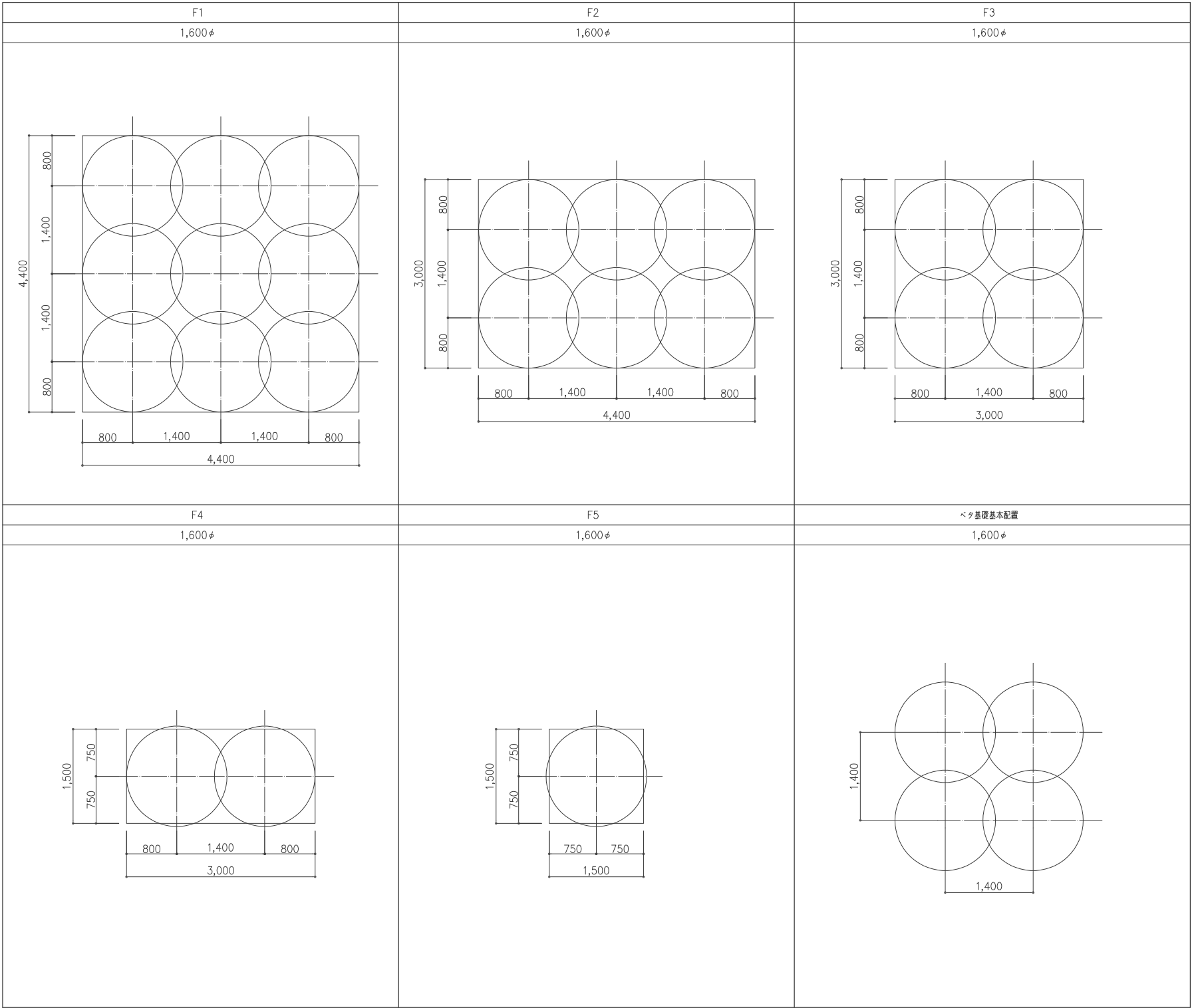


符号	WX	WY	H	X方向配筋	Y方向配筋
F1	4400	4400	1300	44-D22	44-D22
F2	4400	3000	1400	29-D22	36-D22
F3	3000	3000	1100	23-D22	23-D22
F4	3000	1500	1000	23-D22	12-D22
F5	1500	1500	500	12-D19	12-D19

耐圧版リスト

形状	符号	版厚 t	位置	短辺方向	長辺方向	備考
	FS30	300	上端筋	D13@200	D13@200	捨てコン厚50 砕石厚60
			下端筋	D13@200	D13@200	
	FS70	700	上端筋	D19@150	D19@200	ベタ基礎 捨てコン厚50 砕石なし
			下端筋	D19@150	D19@200	
			上端筋			
			下端筋			

地盤改良体配置図



F4
1,600φ

F5
1,600φ

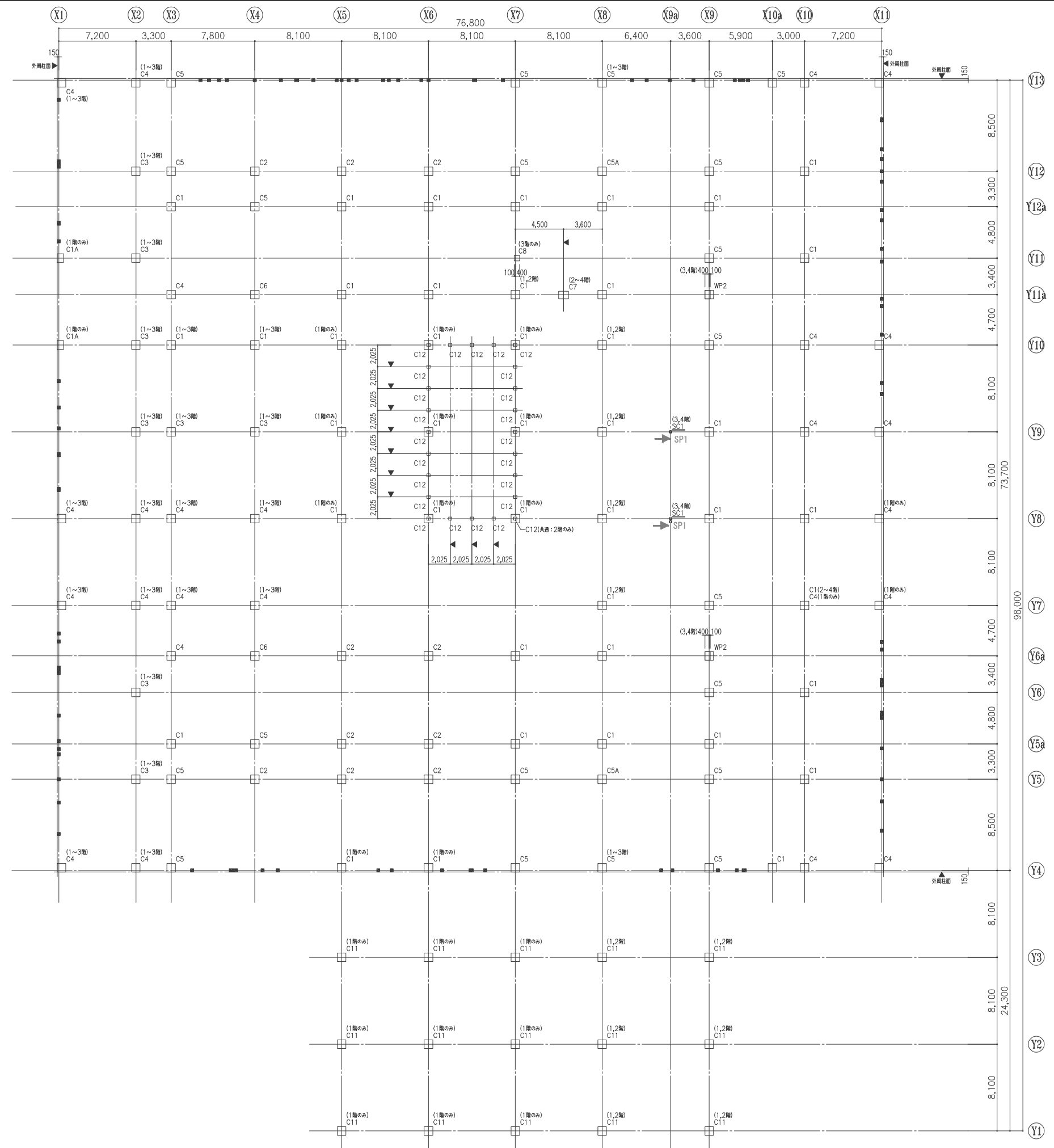
ベタ基礎基本配置
1,600φ

2. カットオフ長さは標準図S-004に定める値かつ備考欄の値以上とする。

Figure 1 is a schematic diagram of a square microstructure. It shows a square unit cell with four circular inclusions at the corners. Arrows indicate the X and Y directions for the unit cell and the inclusions.

共通事項：1.幅止め筋、腰筋、二段受け筋は鉄筋コンクリート構造基準参照
2.カットオフ長さは標準図S-004に定める値かつ備考欄の値以上

	訂正	・					件名	岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校 校舎新築(建築)工事		
		・					図面名称	図尺 A1版 1:40 A3版 1:80	図面番号 S-061	
		・								
		・								
		・								
							基礎梁断面リスト-2			



共通事項

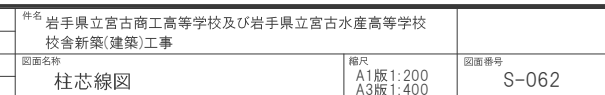
特記なき限り下記による。

1. 図は1階の柱を示す

2. 柱は1階から4階まで通しとする

3. 柱は通りを振分けとする

4. ■ はX1通り・X11通り・Y4通り・Y13通りの
ファード壁の壁柱(WP**)を示し、位置及び符号は各階伏図に示す



共通事項：1. フープはスパイラルフープとし、柱幅300以下のC12、WP1～WP1Fは溶接閉鎖型とする。
2. 柱梁接合部フープはS-005鉄筋コンクリート構造基準図-2による

3. へ は寄せ筋を示す。
4. 主筋の定着には定着版をもちいてもよい。

仕口部ゾーン要件

The diagram illustrates a 3D view of a beam-column joint. A central vertical column is intersected by a horizontal beam. The joint zone is defined by a shaded rectangular area. Dimensions are labeled as follows: $UX1$ and $UX2$ are the horizontal distances from the column face to the left and right ends of the joint zone, respectively. $UY1$ and $UY2$ are the vertical distances from the column face to the top and bottom ends of the joint zone, respectively. A coordinate system is shown with the Z-axis pointing upwards, the X-axis pointing to the right, and the Y-axis pointing out of the page. The origin is at the center of the joint zone. The labels ΔFL and ΔFR are also present near the top of the column.

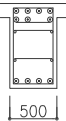
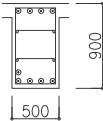
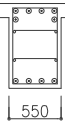
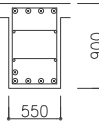
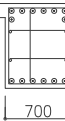
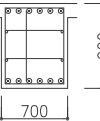
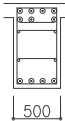
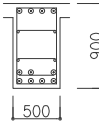
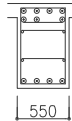
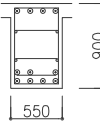
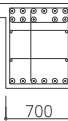
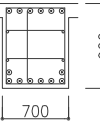
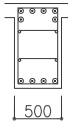
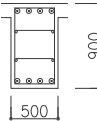
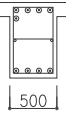
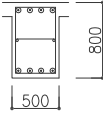
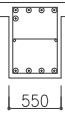
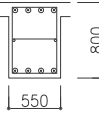
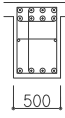
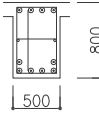
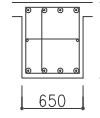
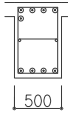
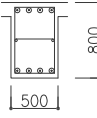
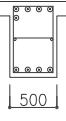
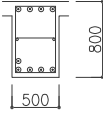
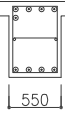
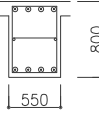
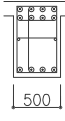
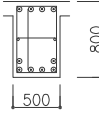
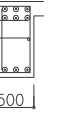
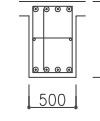
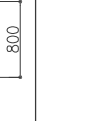
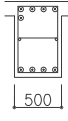
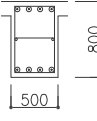
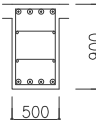
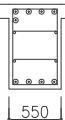
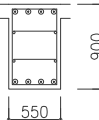
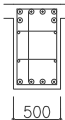
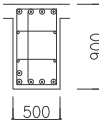
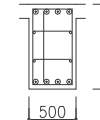
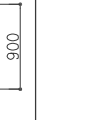
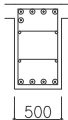
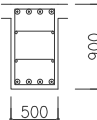
- ・パネルゾーンは柱に集結する全ての梁の重なり合う範囲とする。
- ・パネルゾーン範囲は以下の範囲とする。
 上端 $\min(UX1, UX2, UY1)$
 下端 $\min(DX1, DX2, DY1)$

断面	
主筋	28-D25
フープ	□-D13 @100
備考	1F/X10a通9/Y5~Y12

	訂正	・				件名	岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校校舎新築(建築)工事			
		・					図面名称	縮尺		図面番号
		・								
		・								
		・								
						柱断面リスト	A1版 1:40 A3版 1:80	S-063		

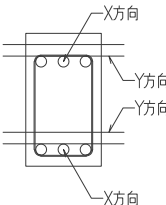
大梁断面リスト-1

共通事項：1.幅止め筋、腰筋、二段受け筋は鉄筋コンクリート構造基本令照
2.カットオフ長さは標準図S-005に定める値かつ備考欄の値以上とする。

符 号	B1		B1A		B1B		B2		B2A		B2B		B3			
位 置	両端	中央	両端	中央	両端	中央	両端	中央	両端	中央	両端	中央	両端	中央		
R 階																
	上補筋	7-D25	4-D25	6-D25	4-D25	8-D25	6-D25	7-D25	4-D25	7-D25	4-D25	11-D25	6-D25	6-D25	4-D25	
	下補筋	4-D25	5-D25	4-D25	5-D25	6-D25	6-D25	4-D25	7-D25	4-D25	7-D25	6-D25	8-D25	4-D25	4-D25	
	スターラップ	2-D13 @200		2-D13 @200		3-D13 @200		2-D13 @200		2-D13 @200		3-D13 @200		2-D13 @200		
備 考	L=2,400						L=2,550		L=2,800		L=2,900					
位 置	両端	中央	両端	中央			両端	中央	X9通端	中央	X10通端			両端	中央	
4 階																
上補筋	5-D25	4-D25	5-D25	4-D25			8-D25	4-D25	8-D25	4-D25	4-D25			5-D25	4-D25	
下補筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25			4-D25	6-D25	4-D25	6-D25	4-D25			4-D25	4-D25	
スターラップ	2-D13 @200		2-D13 @200				3-D13 @200		3-D13 @200				2-D13 @200			
備 考							L=3,000		L=2,850							
3 階																
上補筋	5-D25	4-D25	5-D25	4-D25			8-D25	4-D25	8-D25	4-D25	4-D25	5-D25	4-D25			
下補筋	4-D25	5-D25	4-D25	4-D25			4-D25	6-D25	4-D25	6-D25	4-D25	4-D25	4-D25			
スターラップ	2-D13 @200		2-D13 @200				3-D13 @200		3-D13 @200				2-D13 @200			
備 考							L=3,000		L=2,850							
2 階	全断		両端	中央			両端	中央	X9通端	中央	X10通端			両端	中央	
																
上補筋	4-D25		5-D25	4-D25			6-D25	4-D25	8-D25	4-D25	4-D25			5-D25	4-D25	
下補筋	4-D25		4-D25	4-D25			4-D25	5-D25	4-D25	6-D25	4-D25			4-D25	4-D25	
スターラップ	2-D13 @200		2-D13 @200				3-D13 @200		3-D13 @200				2-D13 @200			
備 考									L=2,950							

主筋配筋順序

・梁主筋レベルが同じ場合



PCスラブ受け大梁 補強筋リスト

PCスラブを受ける大梁の腰筋は以下に読み替えること。
読み替えた腰筋は柱にL2定着すること。

符 号	腰 筋	符 号	腰 筋
B1	8-D16	G1	8-D19
B1A	8-D16	G2	8-D19
B2	8-D16	G3	8-D19
B2B	8-D16	G7	8-D19
B3	8-D16	G11	8-D19
B11	8-D16	G11B	8-D19
B12B	8-D16	G12	8-D19
B12D	8-D16	G7A, G11A	8-D19
B12E	8-D16	G20, G31	8-D19
B12, B22, B32	8-D16		

訂正	・
	・
	・
	・

件名	岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校 校舎新築(建築)工事		
図表名称	大梁断面リスト-1	縮尺	A1版 1:40 A3版 1:80
図面番号	S-064		

共通事項：1.幅止め筋、腰筋、二段受け筋は鉄筋コンクリート構造基準参照
2.カットオフ長さは標準図S-005に定める値かつ備考欄の値以上

主筋配筋順序

2. カットオフ長さは標準図S-005に定める値かつ備考欄の値以上とする。

大梁断面リストー4									
共通事項：1. 幅止め筋、腹筋、二段受け筋は鉄筋コンクリート構造基本法規 2. カットオフ長さは標準図S-005に定める値かつ錯考欄の値以上とする。									
符 号	B32		WB1	WB1A	WB1B	WB1C			
位 置			全断			全断			
R 階									
			上補筋			2-D25	4-D25		
			下補筋			2-D25	4-D25		
			スターラップ			2-D13 @100	2-D13 @100		
錯 考			腹筋：6-D16			腹筋：6-D16			
位 置			全断			全断			
4 階									
			上補筋			2-D25	4-D25		
			下補筋			2-D25	4-D25		
			スターラップ			2-D13 @100	2-D13 @100		
錯 考			腹筋：6-D16			腹筋：6-D16			
位 置	全断		全断	全断	全断	全断			
3 階									
	上補筋	3-D25	2-D25	4-D25	4-D25	4-D25			
	下補筋	2-D25	2-D25	4-D25	4-D25	4-D25			
	スターラップ	2-D13 @200	2-D13 @100	2-D13 @100	2-D13 @100	2-D13 @100			
錯 考			腹筋：6-D16	腹筋：12-D16	腹筋：14-D16	腹筋：6-D16			
位 置	面端	中央	全断	全断	全断	全断			
2 階									
	上補筋	7-D25	4-D25	2-D25	4-D25	4-D25	4-D25		
	下補筋	4-D25	6-D25	2-D25	4-D25	4-D25	4-D25		
	スターラップ	3-D13 @200		2-D13 @100	2-D13 @100	2-D13 @100	2-D13 @100		
錯 考	L=2,400		腹筋：6-D16	腹筋：16-D16	腹筋：22-D16	腹筋：6-D16			

主筋配筋順序

・ 梁主筋レベルが同じ場合

	訂正	・					件名 岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校 校舎新築(建築)工事		
		・					図面名称 大梁断面リストー4	縮尺 A1版 1:40 A3版 1:60	図面番号 S-067
		・							
		・							

大梁断面リスト-5																		共通事項：1. 幅止め筋、腰筋、二段受け筋は鉄筋コンクリート構造基本令照 2. カットオフ長さは標準図S-005に定める値かつ備考欄の値以上とする。									
符 号	G1			G1A		G2			G2A			G3	G4	G7		G7A											
位 置				両端	中央				Y4,Y13通端	中央	Y5,Y12通端		全断	両端	中央	両端	中央										
R 階																											
上端筋				6-D25					4-D25		5-D25		3-D25		3-D25		4-D25		4-D25		5-D25		3-D25				
下端筋				5-D25					8-D25		5-D25		6-D25		5-D25		4-D25		3-D25		3-D25		4-D25				
スターラップ 備 考				2-D13 @200					2-D13 @200			2-D13 @200			2-D13 @200			2-D13 @200		2-D13 @200		2-D13 @200					
位 置	両端	中央	両端	中央	両端	中央	両端	中央	Y4,Y13通端	中央	Y5,Y12通端	全断	全断	両端	中央												
4 階																											
上端筋	6-D25		4-D25		6-D25		4-D25		7-D25		4-D25		5-D25		3-D25												
下端筋	4-D25		5-D25		4-D25		5-D25		4-D25		5-D25		3-D25		4-D25												
スターラップ 備 考	2-D13 @200			2-D13 @200			2-D13 @200			2-D13 @200			2-D13 @200		2-D13 @200												
備 考							L=2,350						L=2,650														
位 置	両端	中央	両端	中央	両端	中央	両端	中央	Y4,Y13通端	中央	Y5,Y12通端	全断	全断	両端	中央												
3 階																											
上端筋	6-D25		4-D25		6-D25		4-D25		7-D25		4-D25		5-D25		3-D25												
下端筋	4-D25		5-D25		4-D25		5-D25		4-D25		5-D25		3-D25		4-D25												
スターラップ 備 考	2-D13 @200			2-D13 @200			2-D13 @200			2-D13 @200			2-D13 @200		2-D13 @200												
備 考							L=2,350						L=2,650														
位 置	両端	中央	両端	中央	両端	中央	両端	中央	Y4,Y13通端	中央	Y5,Y12通端	全断	全断														
2 階																											
上端筋	5-D25		4-D25		5-D25		4-D25		5-D25		3-D25		5-D25														
下端筋	4-D25		4-D25		4-D25		4-D25		4-D25		3-D25		5-D25														
スターラップ 備 考	2-D13 @200			2-D13 @200			2-D13 @200			2-D13 @200			2-D13 @200														
備 考										L=2,450																	

主筋配筋順序

・梁主筋レベルが同じ場合

訂正	・					件名	岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校 校舎新築(建築)工事		
	・					図面名称	大梁断面リスト-5	縮尺	A1版 1:40 A3版 1:60
	・							図面番号	S-068
	・								
	・								

大梁断面リスト-6

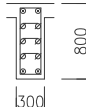
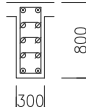
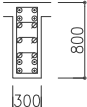
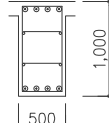
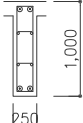
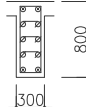
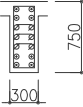
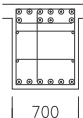
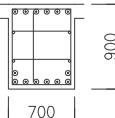
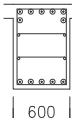
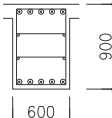
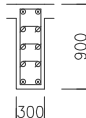
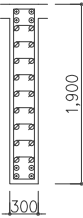
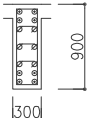
共通事項：1.幅止め筋、腰筋、二段受け筋は鉄筋コンクリート構造基本金配
2.カットオフ長さは標準図S-005に定める値かつ備考欄の値以上とする。

符 号	G11		G11A	G11B		G11C			G11D		G12	G12A			G20	
位 置	両端	中央	全断	両端	中央	Y11a通端	中央	Y12a通端			全断	Y11通端	中央	Y12a通端		
R階																
上補筋	6-D25	4-D25	4-D25	6-D25	4-D25	8-D25	6-D25	6-D25			4-D25	6-D25	11-D25	11-D25		
下補筋	5-D25	7-D25	4-D25	4-D25	6-D25	8-D25	11-D25	8-D25			4-D25	6-D25	6-D25	6-D25		
スターラップ	2-D13 @200		2-D13 @200	2-D13 @200		3-D13 @200					2-D13 @200	3-D13 @200				
備 考																
位 置	両端	中央	全断	全断		Y11a通端	中央	Y12a通端			全断	Y11通端	中央	Y12a通端		
4階																
上補筋	6-D25	4-D25	4-D25	4-D25		7-D25	4-D25	4-D25			4-D25	5-D25	6-D25	6-D25		
下補筋	4-D25	5-D25	4-D25	4-D25		4-D25	6-D25	4-D25			4-D25	5-D25	5-D25	5-D25		
スターラップ	2-D13 @200		2-D13 @200	2-D13 @200		2-D13 @200					2-D13 @200	2-D13 @200				
備 考						L=2,450										
位 置	両端	中央	全断	両端	中央				両端	中央	全断				両端	中央
3階																
上補筋	6-D25	4-D25	4-D25	6-D25	4-D25				10-D25	6-D25	4-D25				7-D25	4-D25
下補筋	4-D25	5-D25	4-D25	4-D25	6-D25				6-D25	8-D25	4-D25				4-D25	6-D25
スターラップ	2-D13 @200		2-D13 @200	2-D13 @200					3-D13 @200		2-D13 @200				2-D13 @200	
備 考															L=2,400	
位 置	両端	中央	全断	両端	中央						全断				両端	中央
2階																
上補筋	6-D25	4-D25	4-D25	6-D25	4-D25						4-D25				8-D25	4-D25
下補筋	4-D25	5-D25	4-D25	4-D25	6-D25						4-D25				4-D25	6-D25
スターラップ	2-D13 @200		2-D13 @200	2-D13 @200							2-D13 @200				2-D13 @200	
備 考															L=2,750	

主筋配筋順序

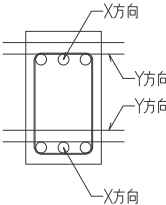
・梁主筋レベルが同じ場合

	訂正	・					件名 岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校 校舎新築(建築)工事	図面名称 大梁断面リスト-6	縮尺 A1版 1:40 A3版 1:80	図面番号 S-069
		・								
		・								
		・								
		・								

大梁断面リスト-7									
共通事項：1.幅止め筋、腰筋、二段受け筋は鉄筋コンクリート構造基本令照 2.カットオフ長さは標準図S-005に定める値かつ備考欄の値以上とする。									
符 号	G20A		G30	G31		WG1	WG1A	WG1B	WG1C
位 置						全断			
R 階									
						2-D25			
						2-D25			
						2-D13 @100			
補 考						腰筋：6-D16			
位 置						全断			全断
4 階									
						2-D25			4-D25
						2-D25			4-D25
						2-D13 @100			2-D13 @100
補 考						腰筋：6-D16			腰筋：6-D16
位 置			全断	全断		全断	全断		
3 階									
			4-D25	2-D25		2-D25	4-D25		
			4-D25	2-D25		2-D25	4-D25		
			2-D13 @200	2-D13 @200		2-D13 @100	2-D13 @100		
補 考						腰筋：6-D16	腰筋：6-D16		
位 置	面端	中央		面端	中央	全断	全断	全断	全断
2 階									
	10-D25	6-D25		7-D25	5-D25	2-D25	4-D25	4-D25	4-D25
	6-D25	8-D25		5-D25	5-D25	2-D25	4-D25	4-D25	4-D25
	3-D13 @200			2-D13 @200		2-D13 @100	2-D13 @100	2-D13 @100	2-D13 @100
補 考	L=2,350					腰筋：6-D16	腰筋：18-D16	腰筋：22-D16	腰筋：6-D16

主筋配筋順序

・梁主筋レベルが同じ場合

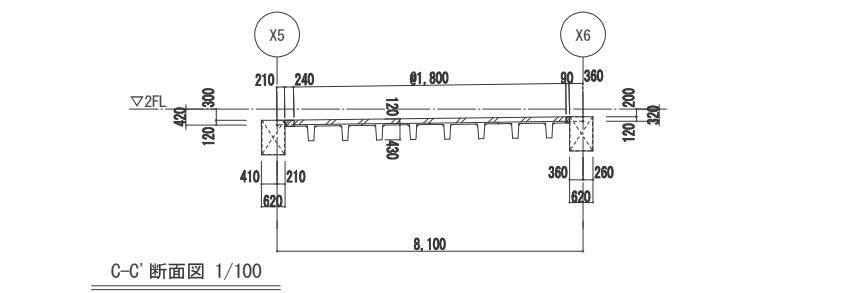
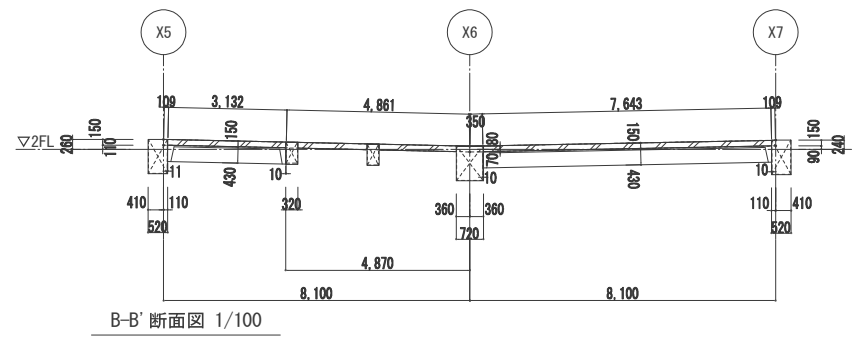
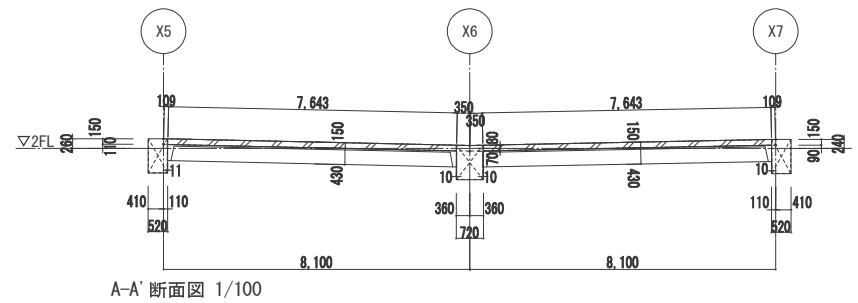
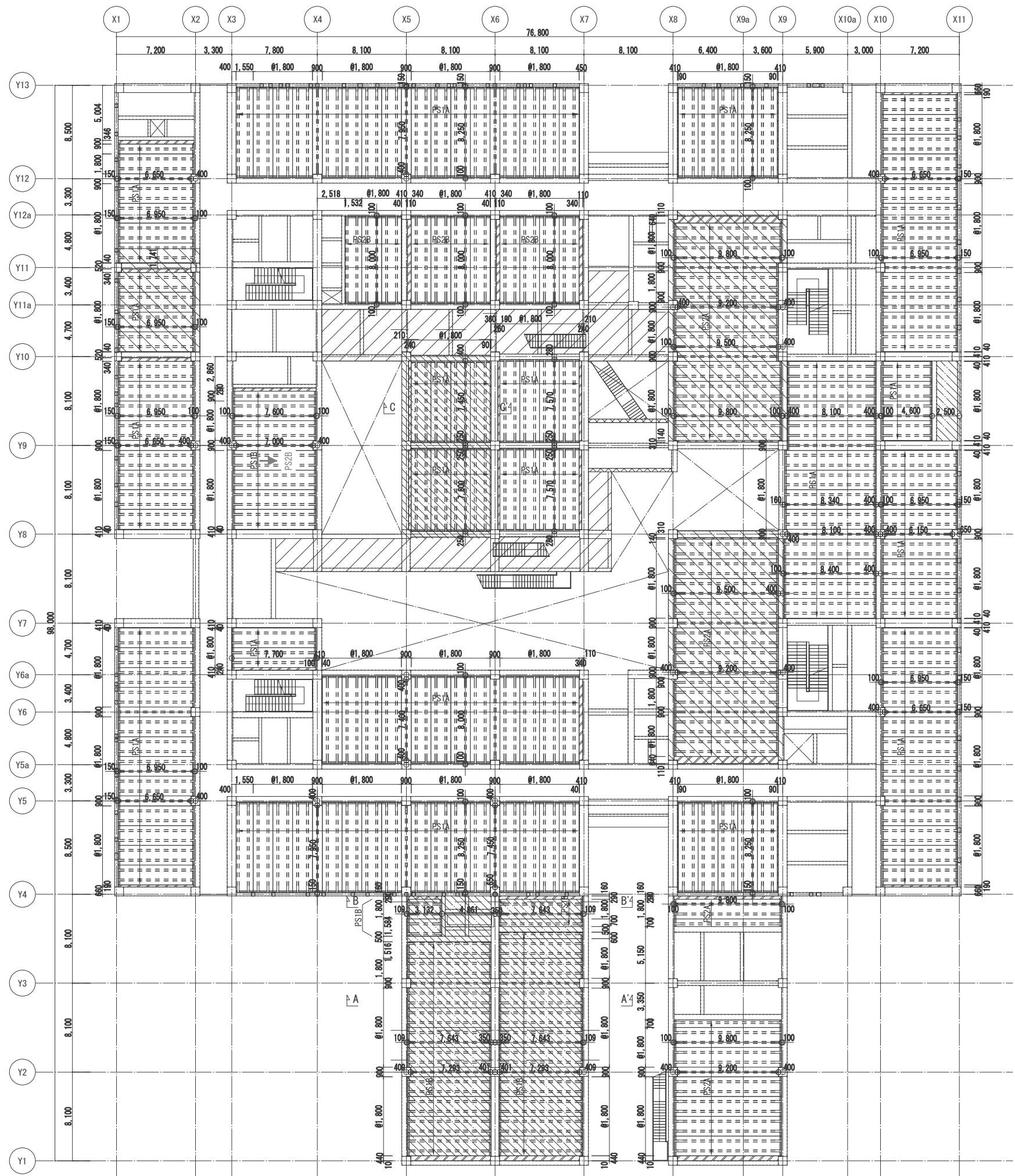


	訂正	・				件名	岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校 校舎新築(建築)工事		
		・				図面名称	大梁断面リスト-7		
		・				縮尺	A1版 1:40 A3版 1:80		図面番号
		・							S-070

プレストレストコンクリート合成床板製作・工事特記事項																													
1 一般事項	1-1 適用範囲	本仕様書は工場で製造された床板・屋根板等のプレストレストコンクリート合成床板部材（以下、部材という）の製作・施工に適用する。なお、トッピングコンクリート工事は含まない。 本工事は下記基準に準拠する。 1) 建築基準法、同法施行令80条の2の規定に基づく昭和58年建設省告示第1320号 2) 『プレストレストコンクリート造技術基準解説及び設計・計算例』2009年 国土交通省国土技術政策総合研究所 3) 『プレストレストコンクリート設計施工規準・同解説』2022年 日本建築学会 4) 『プレストレスト鉄筋コンクリート（Ⅲ種PC）構造設計・施工指針・同解説』2003年 日本建築学会 5) 『建築工事標準仕様書・同解説 JASS10 プレキャスト鉄筋コンクリート工事』（以下、JASS10 という）2013年 日本建築学会 6) 『建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 鉄筋コンクリート工事』（以下、JASS5 という）2022年 日本建築学会	4 部材の製作	4-1 製作要領書 および製作図	1) 部材製作にあたって、製造者は部材製作要領書を作成し、工事監理者に確認する。 2) 部材製作にあたって、施工者または製造者は部材製作図を作成し、工事監理者の承認を得る。 部材製作は、確認された部材製作要領書に基づき正確かつ適正に行う。 1) 型枠は、コンクリート打込み時の振動や組立て時、脱型時の取扱い等により、そり・ねじれ・ゆがみ等が生じないように、適度な強度と剛性を有するものとする。 2) 脱型前にプレストレスを導入する部材の型枠は、プレストレス導入を妨げない構造とする。 3) 型枠は十分に清掃し、曲がり・ねじれ等がなく、寸法および角度を正しく保つように組立てて設置する。 1) 鉄筋の加工および組立ては、部材製作図による他 JASS10 による。 2) 鉄筋のあきは、JASS5 による。 3) 設計図に指示がない場合、並行する鉄筋とPC鋼材またはアンボンドPC鋼材とのあきは20mm以上、粗骨材最大寸法の1.25倍以上、かつ、鉄筋直径以上とする。ただし、コンクリートを十分締固められ、付着応力に問題がない場合は、工事監理者と協議の上、接触して配置してもよい。	5 製品検査	5-1 検査項目	部材の検査は、コンクリート強度・形状寸法・ひび割れ・破損・仕上げおよび先付部品の取付け位置について行う。 部材のコンクリート強度の検査は、脱型時（プレストレス導入時）・出荷時・管理材齢時に行う。また、コンクリート強度試験用供試体の採取および養方法は、下記を標準とする。	8 部材の架設	8-1 部材の架設	1) 部材の架設作業は施工計画に従い順序よく行う。 2) 部材の架設作業は専任担当者を定め、その指示に従って行う。 3) 部材の仮置きに際しては適切な架台を設け、部材に曲がり・ねじれ・有害なひび割れおよび破損が生じないようにする。 4) 現場における施工精度は、施工計画書による。 5) 運搬および架設時にひび割れや破損が生じた部材は、工事監理者の指示に従い処置する。																		
	1-2 準拠図書			4-2 製作 4-3 型枠			5-2 コンクリート強度			9-1 コンクリート強度	(単位：N/mm ²) <table><tr><th>構造種別</th><th>設計基準強度</th><th>PC導入時強度</th><th>脱型時強度</th><th>備考</th></tr><tr><td>PC合成床板</td><td>60</td><td>30</td><td>30</td><td>プレテンション方式</td></tr></table>	構造種別	設計基準強度	PC導入時強度	脱型時強度	備考	PC合成床板	60	30	30	プレテンション方式								
構造種別	設計基準強度	PC導入時強度	脱型時強度	備考																									
PC合成床板	60	30	30	プレテンション方式																									
2 材料	2-1 セメント	セメントは、普通ポルトランドセメントまたは早強ポルトランドセメント（JIS R 5210 規格品）を用いることを原則とする。	部材の製作	4-4 配筋	1) ポストテンション部材のアンボンドPC鋼材は、コンクリート打込み時に位置ずれを起こさないよう固定する。 2) 設計図に指示がない場合、アンボンドPC鋼材相互のあきは30mm以上、かつ、粗骨材最大寸法の1.25倍以上とする。ただし、コンクリートを十分締固められる場合は、工事監理者と協議の上、接触して配置してもよい。 3) アンボンドPC鋼材配置の許容差は、以下の値を標準とする。	5 製品検査	5-3 形状寸法の検査	1) 形状寸法の検査項目は部材の種類に応じて定め、部材製作要領書に明記する。 2) 検査の方法および測定器具は、部材の種類に応じて定める。 1) 検査は下記事項について行う。 a. コンクリートのひび割れおよび破損 b. 先付部品の破損および取付位置のずれ・ゆがみ c. コンクリート表面の仕上げ	9 特記事項	9-2 PC鋼材の仕様	<table><tr><th>No.</th><th>種類</th><th>断面積 (mm²)</th><th>引張荷重 (kN/φ)</th><th>降伏荷重 (kN/φ)</th><th>許容引張荷重 (kN/φ)</th><th>導入時 (kN/φ)</th><th>定着完了時 (kN/φ)</th><th>初緊張力 (kN/φ)</th></tr><tr><td>(1)</td><td>PC鋼より線 12.7mm (SWPR7BL)</td><td>98.7</td><td>183</td><td>156</td><td>133</td><td>125</td><td>125</td><td>125</td></tr></table> 註：初緊張力に対し、ジャッキ内ロス・温度補正等を別途考慮して、製作時の作業緊張力を求め、緊張計算書に記載する。	No.	種類	断面積 (mm ²)	引張荷重 (kN/φ)	降伏荷重 (kN/φ)	許容引張荷重 (kN/φ)	導入時 (kN/φ)	定着完了時 (kN/φ)	初緊張力 (kN/φ)	(1)	PC鋼より線 12.7mm (SWPR7BL)	98.7	183	156	133	125	125	125
	No.	種類		断面積 (mm ²)	引張荷重 (kN/φ)		降伏荷重 (kN/φ)	許容引張荷重 (kN/φ)		導入時 (kN/φ)	定着完了時 (kN/φ)	初緊張力 (kN/φ)																	
(1)	PC鋼より線 12.7mm (SWPR7BL)	98.7	183	156	133	125	125	125																					
	2-2 骨材	1) 骨材は JASS10 による。 2) 骨材は、PC鋼材またはシースの間を容易に通過するものを用いる。	部材の製作	4-5 PC鋼材配置 (ポストテンション)	1) アンボンドPC鋼材の保持点間隔は1.2m以下を標準とする。 1) PC鋼材の配線に先立ち、その種類、径を確認する。 2) PC鋼材は、配線作業の際、型枠の剝離材・ゴミ・土等の有害物が付着しないようにする。	5 製品検査	5-4 外観・仕上げ等の検査	1) 検査は下記事項について行う。 a. コンクリートのひび割れおよび破損 b. 先付部品の破損および取付位置のずれ・ゆがみ c. コンクリート表面の仕上げ	9 特記事項	9-3 型枠 9-4 仕上げ	原則として、型枠は鋼製型枠とする。 1) コンクリート打設面の仕上げは、原則として下記の通りとする。 a. 合成部材の合成面は櫛引等による粗面仕上げ 2) 型枠面の仕上げはコンクリート素地とする。 3) プレテンションPC鋼材の切断端部は、防錆材塗布とする。 PC合成床板のプレテンションによる反りで減少する床板中央部トップコン厚さの許容値は原則として以下の値とする。																		
	2-3 練混ぜ水	練混ぜ水は JASS10 による。																											
	2-4 混和材料	1) 混和材料は JASS10 による。 2) 混和材料は、PC鋼材を腐食させたり、PC鋼材の付着性能を低下させるようなものを用いない。	部材の製作	4-6 PC鋼材配置 (プレテンション)	4) アンボンドPC鋼材の保持点間隔は1.2m以下を標準とする。 1) PC鋼材の配線に先立ち、その種類、径を確認する。 2) PC鋼材は、配線作業の際、型枠の剝離材・ゴミ・土等の有害物が付着しないようにする。	5 製品検査	5-5 表示	1) 製品検査で合格した部材は、検査済みを示す表示を行う。 2) 検査済みを示す表示の他、部材の識別が可能なように、部材符号等の識別表示を行う。	9 特記事項	9-5 トップコン厚さ	<table><tr><th>標準トップコン厚さ (mm)</th><th>部材名</th><th>トップコン厚さ許容値 (mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="2">120</td><td>PS1A</td><td>105</td><td></td></tr><tr><td>PS2A</td><td>95</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">150</td><td>PS1B</td><td>135</td><td></td></tr><tr><td>PS2B</td><td>125</td><td></td></tr></table>	標準トップコン厚さ (mm)	部材名	トップコン厚さ許容値 (mm)	備考	120	PS1A	105		PS2A	95		150	PS1B	135		PS2B	125	
	標準トップコン厚さ (mm)	部材名		トップコン厚さ許容値 (mm)	備考																								
120	PS1A	105																											
	PS2A	95																											
150	PS1B	135																											
	PS2B	125																											
	2-5 鉄筋および溶接金網	鉄筋および溶接金網は下記の規定に適合するものを用いる。 JIS G 3112（鉄筋コンクリート用棒鋼） JIS G 3551（溶接金網及び鉄筋格子）	部材の製作	4-7 緊張 (プレテンション)	1) プレテンション部材のPC鋼材の初緊張力は特記による。 2) プレストレスの導入にあたっては、事前に緊張計算書を作成し、部材製作要領書に明記する。 3) PC鋼材の伸び量は、緊張時の定着具のセット量・接合具のセット量・アバットの移動等による損失を見込んで計算により求める。また、必要に応じ、緊張後におけるPC鋼材の温度変化に対する補正を行う。 4) 緊張力はジャッキの圧力計によって確認し、最終伸び量を測定して、計算伸び量と比較確認の上で記録する。 5) 緊張計算に用いるPC鋼材のヤング係数は、ミルシートの値による。	5 製品検査	5-6 試作品検査	試作品検査は、製作工程の初期段階に、協議した製作方法および製作精度の確認を目的に実施する。 1) 試作品検査は、指定された部材について、コンクリート打ち込み前の製品1台、コンクリート打設が完了した完成品1台を対象に実施する。 2) 検査対象の製品は、工事監理者に確認して本工事に使用できる。 3) 製作工程に応じた試作品の状態を含め、試作品検査要領書を作成して工事監理者に確認すること。	9 特記事項	9-6 部材支保工の在り期間	施工時荷重を分散させるため、PC合成床板下の支保工は2層受けとする。																		
	2-6 鉄筋の継手および機械式定着	鉄筋継手に機械式継手を用いる場合、および、鉄筋定着に機械式定着工法を用いる場合は、性能・納まりを検討して選定し、工事監理者に確認する。																											
	2-7 PC鋼材および定着具	1) PC鋼材は JIS G 3536（PC鋼線及びPC鋼より線）、JIS G 3109（PC鋼棒）、JIS G 3137（細径異形PC鋼棒）に適合するもの、またはこれらと同等以上の品質を有するものとする。 2) PC鋼材は有害なきずや変形および過度のさびなどがなく、表面に油やその他の有害なものが付着してはならない。 3) アンボンドPC鋼材を用いる場合、防せい材等の品質は、PRC指針の付則『アンボンド工法用PC鋼材と施工時の取扱いについて』による。 4) 定着具および接続具はその外観・形状を検査し、強度に影響するようなきずのあるものは用いない。	部材の製作	4-8 打込み前検査	1) アンボンドPC鋼材の保持点間隔は1.2m以下を標準とする。 1) PC鋼材の配線に先立ち、その種類、径を確認する。 2) PC鋼材は、配線作業の際、型枠の剝離材・ゴミ・土等の有害物が付着しないようにする。	5 製品検査	6-1 貯蔵	1) 部材の貯蔵は、貯蔵期間中に転倒・傾き・ねじれ等が起きないように、所定の支持位置にて行う。 2) 部材の支持位置は、部材製作要領書に明記する。 3) 部材の貯蔵期間中の養生方法は、特記による。特記がない場合は、部材製作要領書に明記した上で、工事監理者の承諾を得る。	9 特記事項																				
	2-8 吊上金物	部材の吊上げに用いる金物・インサート等は、作用する荷重に対して安全なものとする。		4-9 コンクリートの打込み	1) コンクリートの打込みおよび締固めは、振動機等を用いて、コンクリートが均質かつ密実に充填されるように行う。 2) コンクリートの打込みにあたっては、シースや先付部品等を損傷しないよう注意する。		6-2 出荷・運搬	1) 出荷は、部材と同一養生した供試体の圧縮強度が、所要の出荷時強度以上であることを確認して行う。 2) 出荷にあたっては、検査済みを示す表示、ならびに破損等の有無を確認する。 3) 部材の出荷および運搬は、下記事項を考慮して行う。 a. 部材に有害なひび割れや破損を生じさせないように運搬する。 b. 輸送関係法規の定めるところにより、特に事故防止に留意する。																					
3 製品規格	3-1 部材の品質	部材の品質は JASS10 の規定に適合するもの、または同等以上のものでなければならない。	部材の製作	4-10 表面仕上げ	コンクリートの表面仕上げは特記による。	5 製品検査	6-3 報告書	1) 施工者は工事に先立ち、施工計画書を作成し工事監理者に確認する。 2) 施工計画書には、架設工事・目地工事に伴う、計画工程・工事組織や施工体系・安全管理・使用機資材・施工方法・品質管理について明示する。また、架設工事については、輸送・組立て・重機配置計画を含めて記載することとする。 施工者は施工図を作成し、工事監理者の承認を得る。 PC工事完了後、速やかに工事記録を整理し、工事監理者に報告する。	9 特記事項																				
	3-2 コンクリート強度	1) 部材のコンクリート強度は、特記の設計基準強度または、耐久設計基準強度より定まる品質基準強度以上とする。 2) 部材に用いるコンクリートの圧縮強度は、所要の脱型時強度・プレストレス導入時強度・出荷時強度を満足するものとし、各々の値は特記による。 3) コンクリートの計画調合は、原則として試し練りによって定め、工事監理者に確認する。ただし、部材製作工場において十分な実績がある調査の場合は、工事監理者に確認して試し練りを省略してよい。		4-11 養生	1) コンクリートの打込み完了後の、養生方法および温度管理の方法は特記による。特記がない場合は、部材製作要領書に明記した上で、工事監理者に確認する。 2) 養生終了から脱型までの間、急激な温度変化や乾燥により、部材に損傷を与えないよう注意する。																								
	3-3 部材の寸法許容差	部材および先付け部品の、寸法の許容差は特記による。特記がない場合は JASS10 等に準じて定め、部材製作要領書に明記した上で工事監理者に確認する。	部材の製作	4-12 プレストレスの導入 (プレテンション)	1) プレストレスの導入は、部材と同一養生した供試体の圧縮強度が、所要のプレストレス導入時強度以上であることを確認して行う。 2) 緊張力の解放は徐々に行い、部材に衝撃を与えないようにする。 3) 特記なき限り、PC鋼材はカッターまたはガスにより緊張端側より順次切断する。 4) PC鋼材の部材端面における処理は、設計図または特記による。	5 製品検査	7-1 施工計画	1) 施工者は工事に先立ち、施工計画書を作成し工事監理者に確認する。 2) 施工計画書には、架設工事・目地工事に伴う、計画工程・工事組織や施工体系・安全管理・使用機資材・施工方法・品質管理について明示する。また、架設工事については、輸送・組立て・重機配置計画を含めて記載することとする。 施工者は施工図を作成し、工事監理者の承認を得る。 PC工事完了後、速やかに工事記録を整理し、工事監理者に報告する。	9 特記事項																				
	3-4 かぶり厚さ	1) PC鋼材に対するコンクリートのかぶり厚さは、特記なき限り、最小かぶり厚さ35mmとする。なお、設計かぶり厚さは最小かぶり厚さに5mm加えた値としてよい。 2) 鉄筋・溶接金網・鉄筋格子に対するコンクリートの最小かぶり厚さは、特記なき限り、屋内で20mm、屋外で30mmとする。なお、設計かぶり厚さは最小かぶり厚さに5mm加えた値としてよい。		4-13 脱型	1) 脱型は、部材と同一養生した供試体の圧縮強度が、所要の脱型時強度以上であることを確認して行う。 2) 脱型は、有害なひび割れや破損が生じないように慎重に行う。		7-2 施工図 7-3 工事報告書																						
	3-5 先付部品の取付け	先付部品の取付けにあたっては、機能上支障となるようなずれ・ゆがみ等あってはならない。	部材の製作	4-14 緊張 (ポストテンション)	1) プレストレスの導入は、部材と同一養生した供試体の圧縮強度が、所要のプレストレス導入時強度以上であることを確認して行う。 2) プレストレスの導入方式および工法は特記による。特記がない場合、導入方式および工法を定め工事監理者に確認する。 3) 緊張には、PC定着工法ごとに定められた専用の装置を用いる。 4) 荷重計または圧力計は、使用前ならびに長期間使用する場合、随時キャリブレーションを行い正常な状態にあるように管理する。 5) PC鋼材の初緊張力は特記による。	5 製品検査	7-1 施工計画	1) 施工者は工事に先立ち、施工計画書を作成し工事監理者に確認する。 2) 施工計画書には、架設工事・目地工事に伴う、計画工程・工事組織や施工体系・安全管理・使用機資材・施工方法・品質管理について明示する。また、架設工事については、輸送・組立て・重機配置計画を含めて記載することとする。 施工者は施工図を作成し、工事監理者の承認を得る。 PC工事完了後、速やかに工事記録を整理し、工事監理者に報告する。	9 特記事項	9-7 施工業者	業者名 一般社団法人 プレストレスト・コンクリート建設業協会の加盟会社の内、1社とする。																		
	3-6 ひび割れおよび破損	コンクリートには、構造上、防水および外観上支障となるようなひび割れ、破損等があってはならない。																											

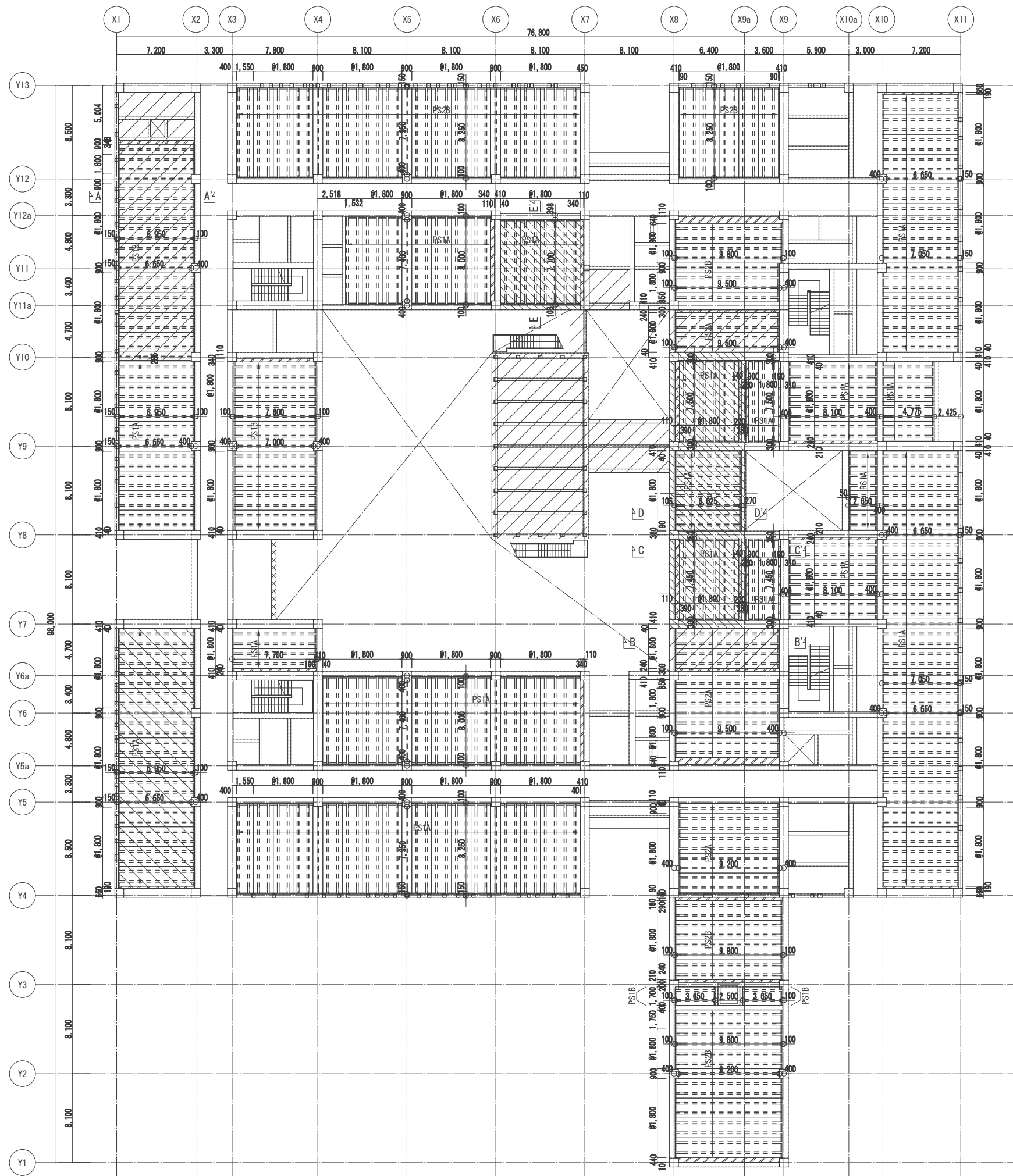
訂正	・
	・
	・
	・
	・

坪名	岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校 校舎新築(建築)工事		
図面名称	プレストレストコンクリート 合成床板製作・工事特記事項	縮尺	A1版1:NS A3版1:NS
図面番号	S-071		



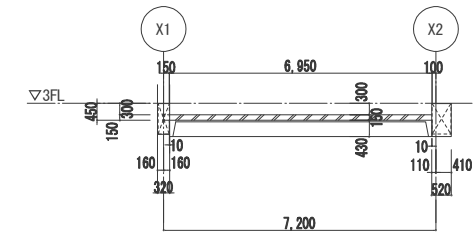
2階 PC合成床板割付図

- 特記なき限り下記による
1. トップコン $F_c=30N/mm^2$
 2. 印は現場打ちスラブ範囲を示す
 3. スラブ上端 : FL-10
 - : FL-100
 - : FL-150
 - : FL-300
 - : 断面図による

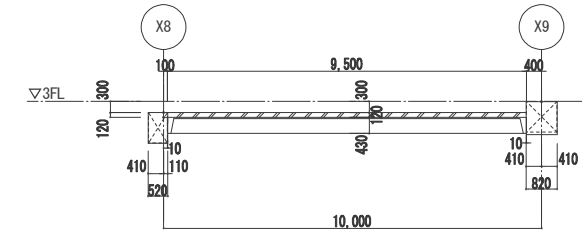


3階 PC合成床板割付図

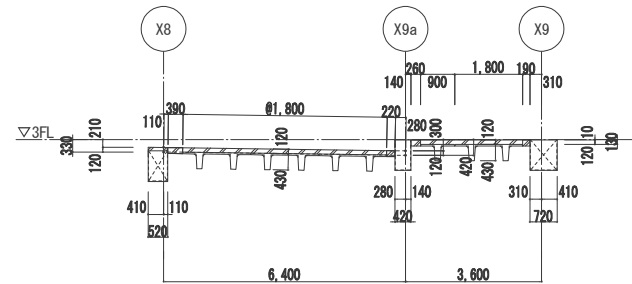
- 特記なき限り下記による
1. トップコン $F_c=30\text{N}/\text{mm}^2$
 2.  印は現場打ちスラブ範囲を示す
 3. スラブ上端 : FL-10
 -  : FL-100
 -  : FL-150
 -  : FL-300
 -  : 断面図による



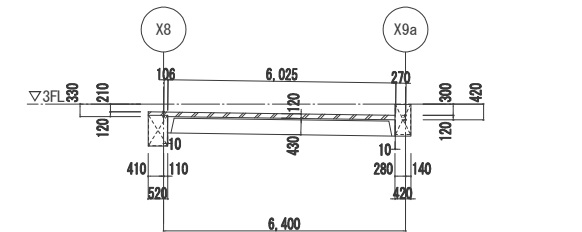
A-A' 断面図 1/100



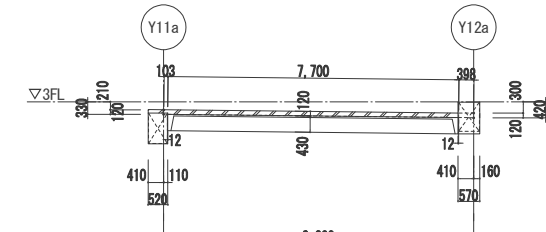
B-B' 断面図 1/100



C-C' 断面図 1/100

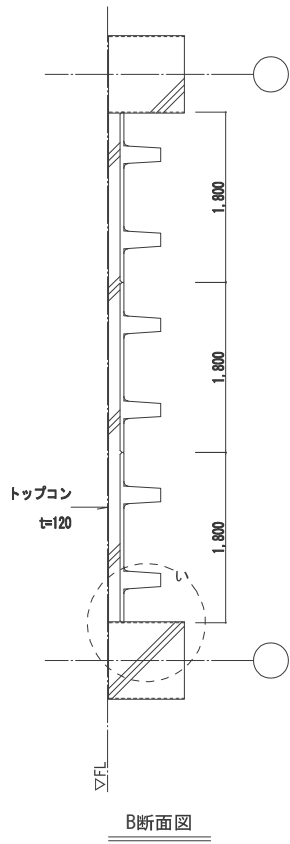


D-D' 断面図 1/100



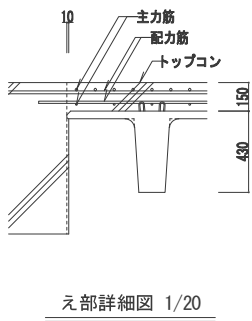
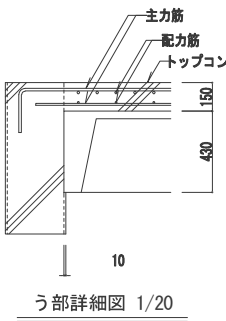
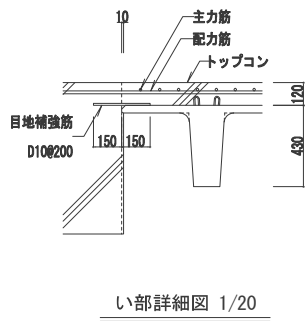
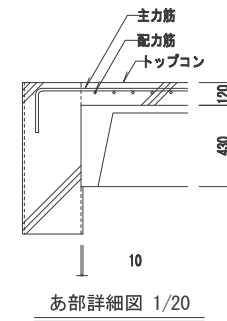
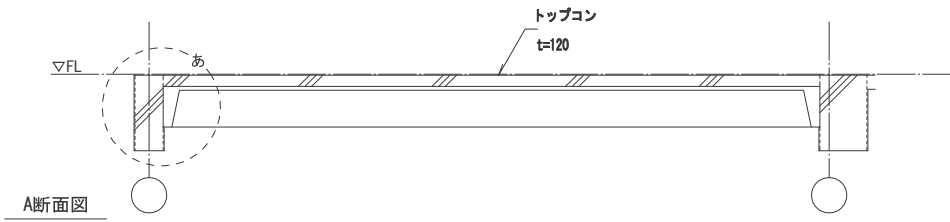
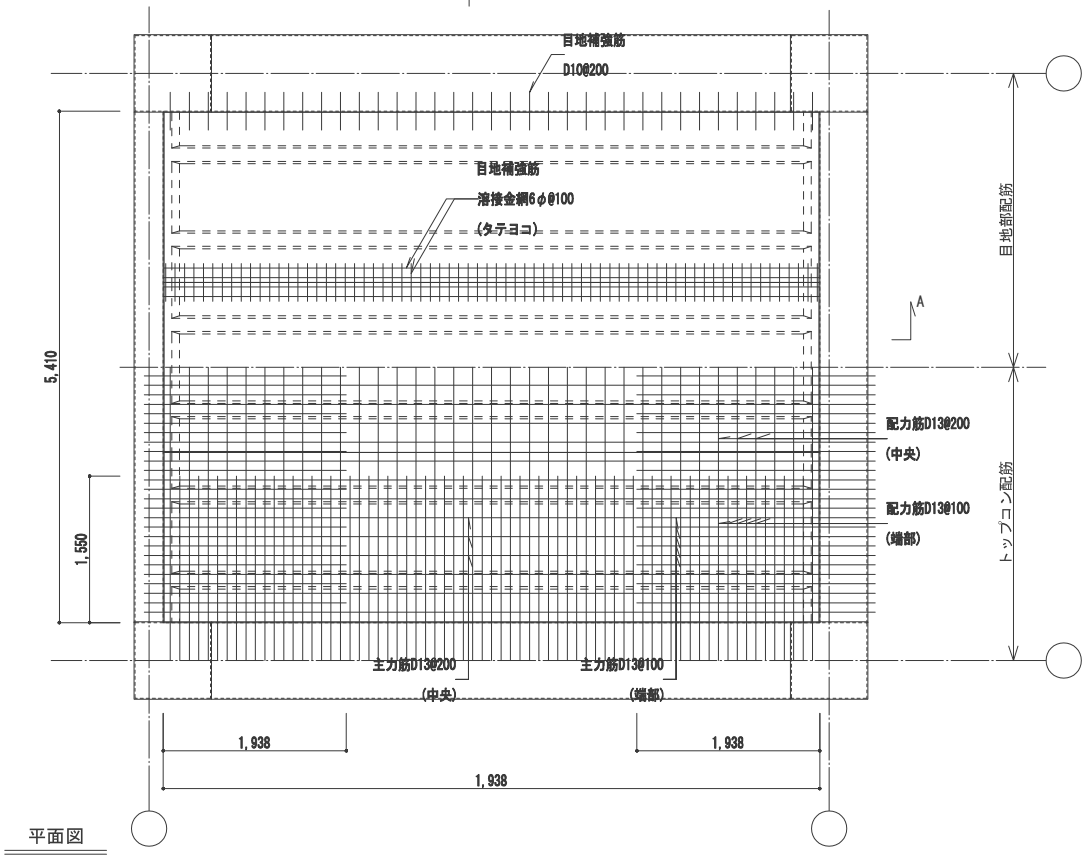
E-E' 断面図 1/100

トップコン配筋図 1/40



PS1A・PS2A

1. 板-板目寸法は0とする

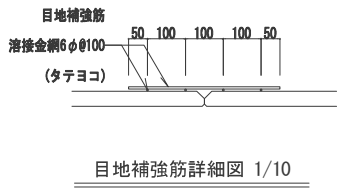
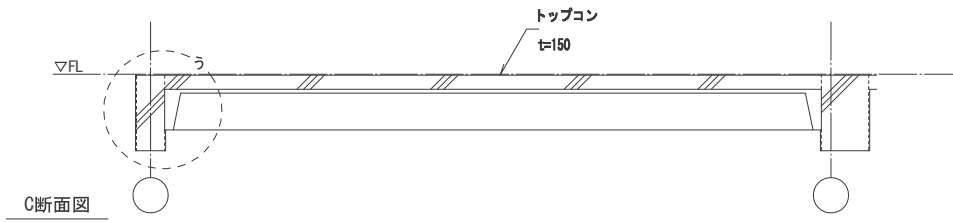
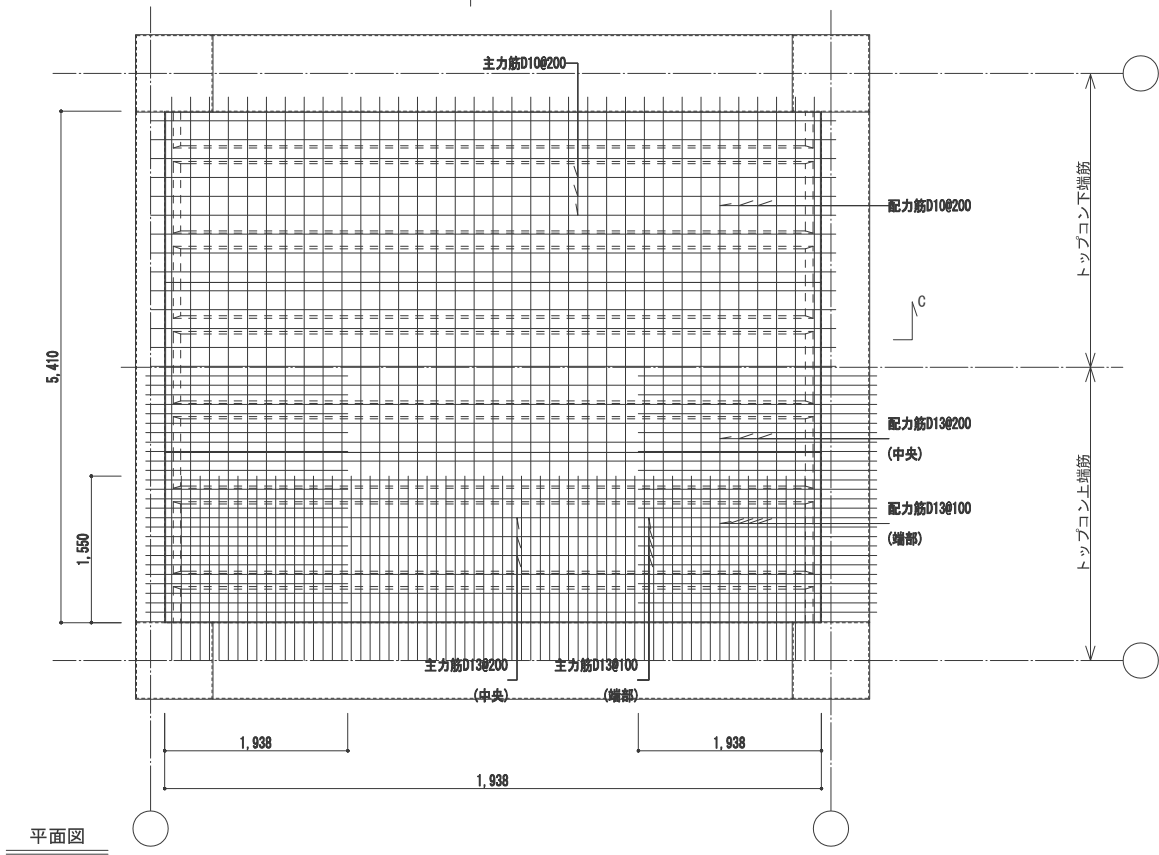
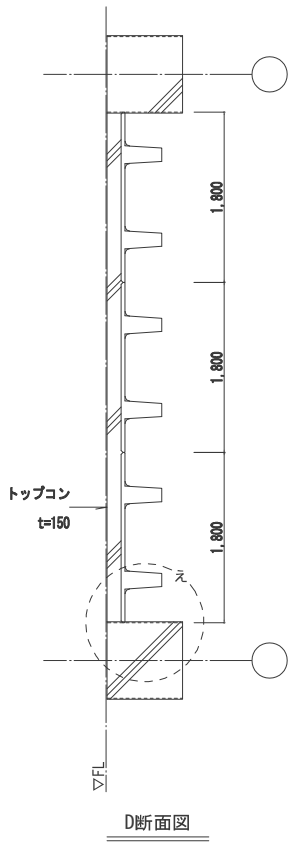


PC合成床板リスト

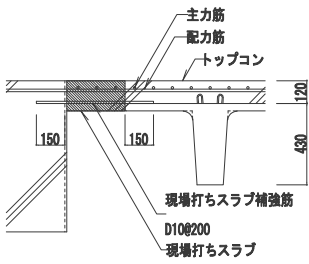
トップコン強度 (F _c)	トップコン厚 (mm)	基本部材長	符 号	PC鋼材本数	位 置	トップコン配筋			
						主力筋		配力筋	
						端 部	中 央	端 部	中 央
30N/mm ²	120	L<8.5m	PS1A	3c-12.7φ (SWPR7BL)	上端筋	D13@100	D13@200	D13@100	D13@200
					下端筋	—	—	—	—
		L≥8.5m	PS2A	5c-12.7φ (SWPR7BL)	上端筋	D13@100	D13@200	D13@100	D13@200
					下端筋	—	—	—	—
	150	L<7.7m	PS1B	3c-12.7φ (SWPR7BL)	上端筋	D13@100	D13@200	D13@100	D13@200
					下端筋	D10@200	D10@200	D10@200	D10@200
		L≥7.7m	PS2B	5c-12.7φ (SWPR7BL)	上端筋	D13@100	D13@200	D13@100	D13@200
					下端筋	D10@200	D10@200	D10@200	D10@200

PS1B・PS2B

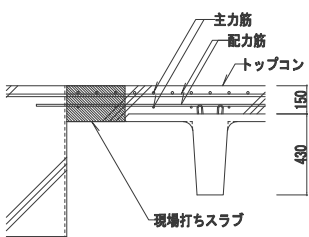
1. 板-板目寸法は0とする



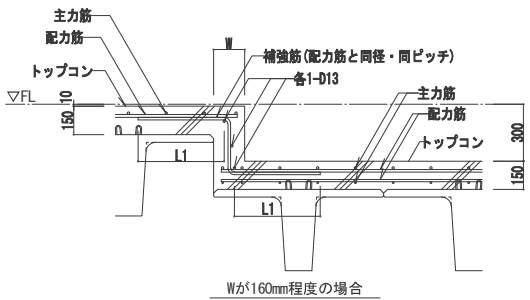
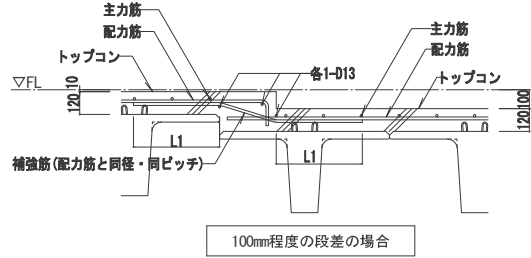
目地補強筋詳細図 1/10



い部詳細図 (現場打ちスラブがある場合) 1/20

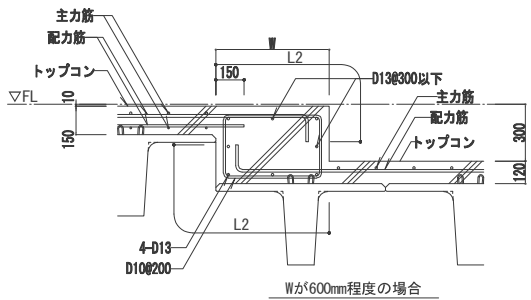


え部詳細図 (現場打ちスラブがある場合) 1/20



1. 下端筋はトップコン厚が150mmの場合のみ

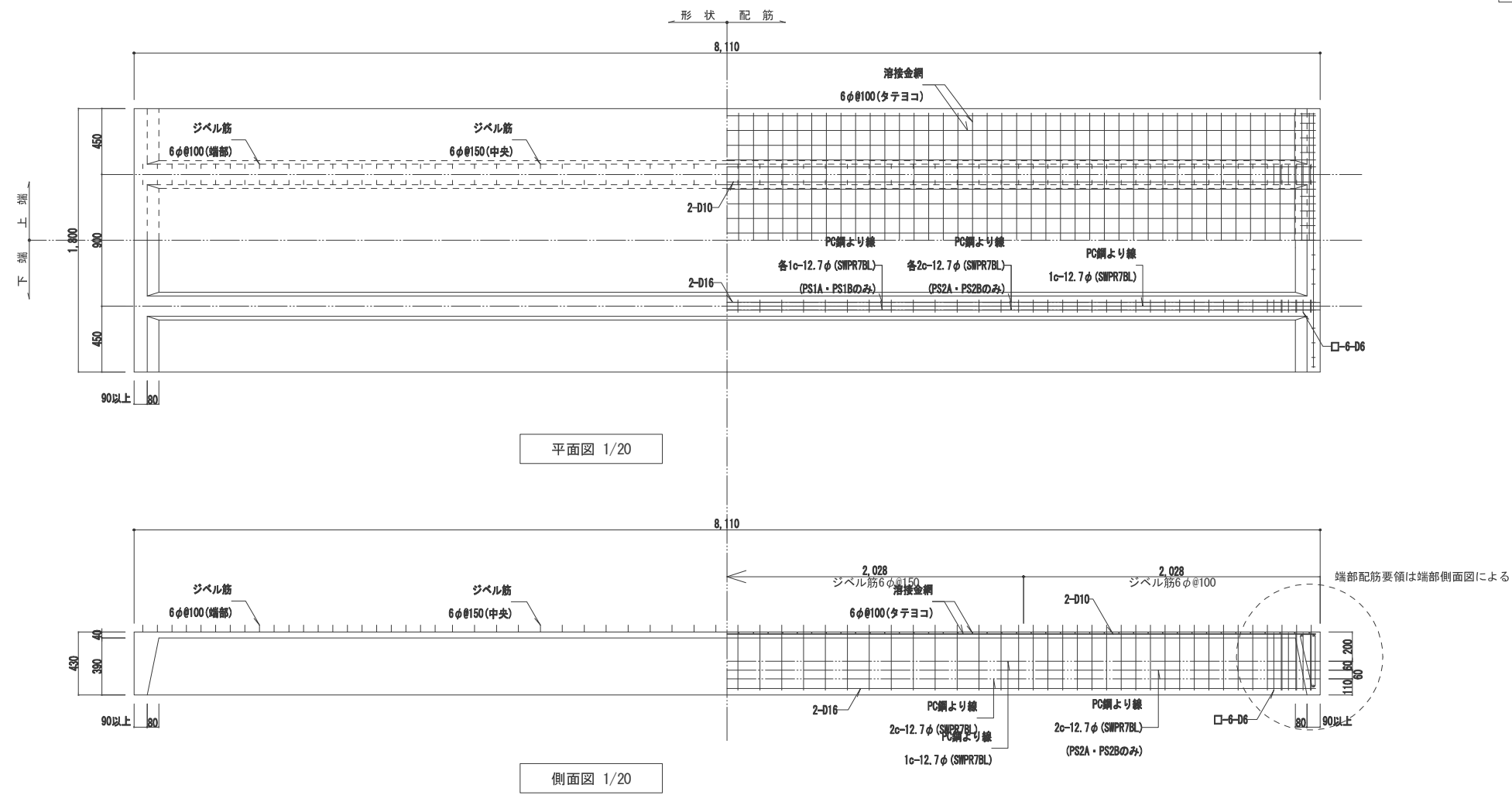
トップコンに段差ができる場合の凡例 1/20



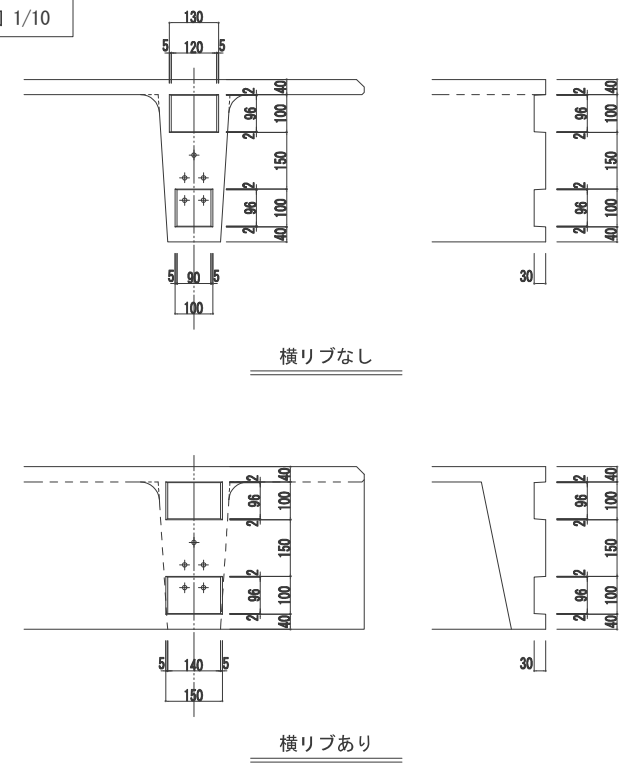
訂正	・
	・
	・
	・
	・

件名	岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校 校舎新築(建築)工事
図面名称	PC合成床板リスト-1
縮尺	A1版1:10,20,40 A3版1:20,40,80
図面番号	S-076

PC合成床板形状配筋図

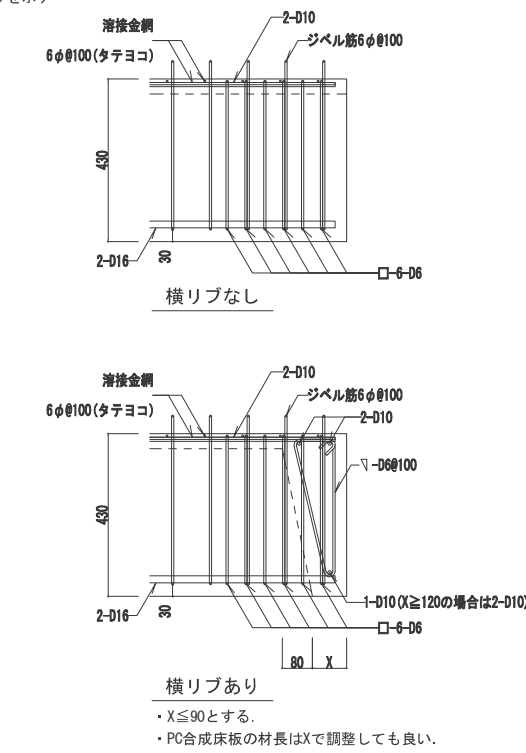


端部コッター形状図 1/10



端部側面図 1/10

1. ※印はかぶりを示す

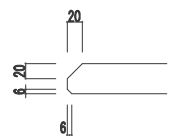


PS1A・PS1Bの場合

PS2A・PS2Bの場合

標準断面図 1/10

1. ※印はかぶりを示す



あ部詳細図 1/5

	訂正						姓名	岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校 校舎新築(建築)工事	縮尺 A1版 1:5,10,20 A3版 1:10,20,40	図面番号 S-077
							図面名称	PC合成床板リスト-2		

小梁・片持ち梁断面リスト																										
共通事項：幅止め筋、腹筋、二段受け筋は鉄筋コンクリート構造基準参照																										
符 号	b50			b55		b55A			b60		b60A		b60B			b65		b70		b80						
位 置	全断			両端	中央	他端	中央	連続端	両端	中央	両端	中央	他端	中央	連続端	両端	中央	両端	中央	両端	中央					
断 面																										
	上端筋 2-D19			5-D22		3-D22			3-D22		4-D22		4-D22		7-D22			5-D22		5-D22		3-D22		3-D22		
	下端筋 3-D19			3-D22		3-D22			3-D22		3-D22		4-D22		6-D22			5-D22		6-D22		3-D22		5-D22		
	スターラップ 2-D10 @200			2-D10 @200		2-D10 @200			2-D10 @200		2-D13 @200		2-D13 @200			2-D13 @200			2-D13 @200		2-D10 @200		2-D10 @200			
備 考																										
符 号	b80A			b80B		b80C			b80D			b80F		b85			b90		b90A			b90B				
位 置	他端	中央	連続端	両端	中央	両端	中央	連続端	他端	中央	連続端	両端	中央	全断			両端	中央	他端	中央	連続端	両端	中央			
断 面																										
	上端筋 3-D22			5-D22		4-D25			4-D22			7-D22			7-D29			3-D22		3-D22		3-D22			5-D22	
	下端筋 3-D22			4-D22		7-D25			4-D22			5-D22			7-D29			3-D22		5-D22		3-D22			4-D22	
	スターラップ 2-D10 @200			2-D10 @200		2-D13 @150			2-D13 @200			2-D13 @200		4-D13 @100			2-D10 @200		2-D10 @200			2-D10 @200				
備 考																										
符 号	b90C			b90D		b90E			b90F			b100		b100A			b100B		b100C			b100D				
位 置	両端		中央	両端	中央	他端	中央	連続端	両端	中央	連続端	両端	中央	他端	中央	連続端	両端	中央	両端	中央	連続端	他端	中央	連続端		
断 面																										
	上端筋 4-D25		4-D25		5-D25		5-D25		9-D22		5-D25		5-D25		3-D22		3-D22		5-D22		3-D22		4-D22		7-D22	
	4-D25		7-D25		5-D25		8-D25		5-D22		5-D22		10-D25		3-D22		5-D22		3-D22		4-D22		5-D22		4-D22	
	スターラップ 2-D13 @200			2-D13 @200		2-D13 @200			3-D13 @200			2-D10 @200		2-D10 @200			2-D10 @200		2-D10 @200			2-D13 @200				
備 考																										
符 号	b100E			b100F		b100G			b120		b130					Fb55		Fb180		cb55・Fcb55						
位 置	両端		中央	他端	中央	連続端	両端	中央	両端	中央	全断			全断			全断		元端		先端					
断 面																										
	上端筋 7-D22		4-D22		5-D22		5-D22		8-D22		5-D25						3-D22			3-D22		5-D22		3-D22		
	4-D22		4-D22		5-D22		6-D22		5-D22		8-D25						3-D22			3-D22		3-D22		3-D22		
	スターラップ 2-D13 @200			2-D13 @200		2-D13 @200			2-D10 @200			2-D13 @200						2-D10 @200			2-D13 @200		2-D10 @200			
備 考																										
符 号	CB1			CB2		CB3			CB4		CG4		CG11		CG12											
位 置	元端		先端	元端	先端	元端	先端	元端	先端	元端	先端	元端	先端	元端	先端	元端	先端									
断 面																										
	上端筋 11-D25		6-D25		11-D25		6-D25		13-D25		7-D25		12-D25		6-D25		5-D25		4-D25		13-D25		7-D25			
	6-D25		6-D25		6-D25		6-D25		7-D25		7-D25		6-D25		6-D25		4-D25		4-D25		7-D25		7-D25			
	スターラップ 3-D13 @200			3-D13 @200		3-D13 @200			3-D13 @200		3-D13 @200		3-D13 @200		2-D13 @200		4-D13 @200									
備 考																										

	訂正	・
		・
		・
		・

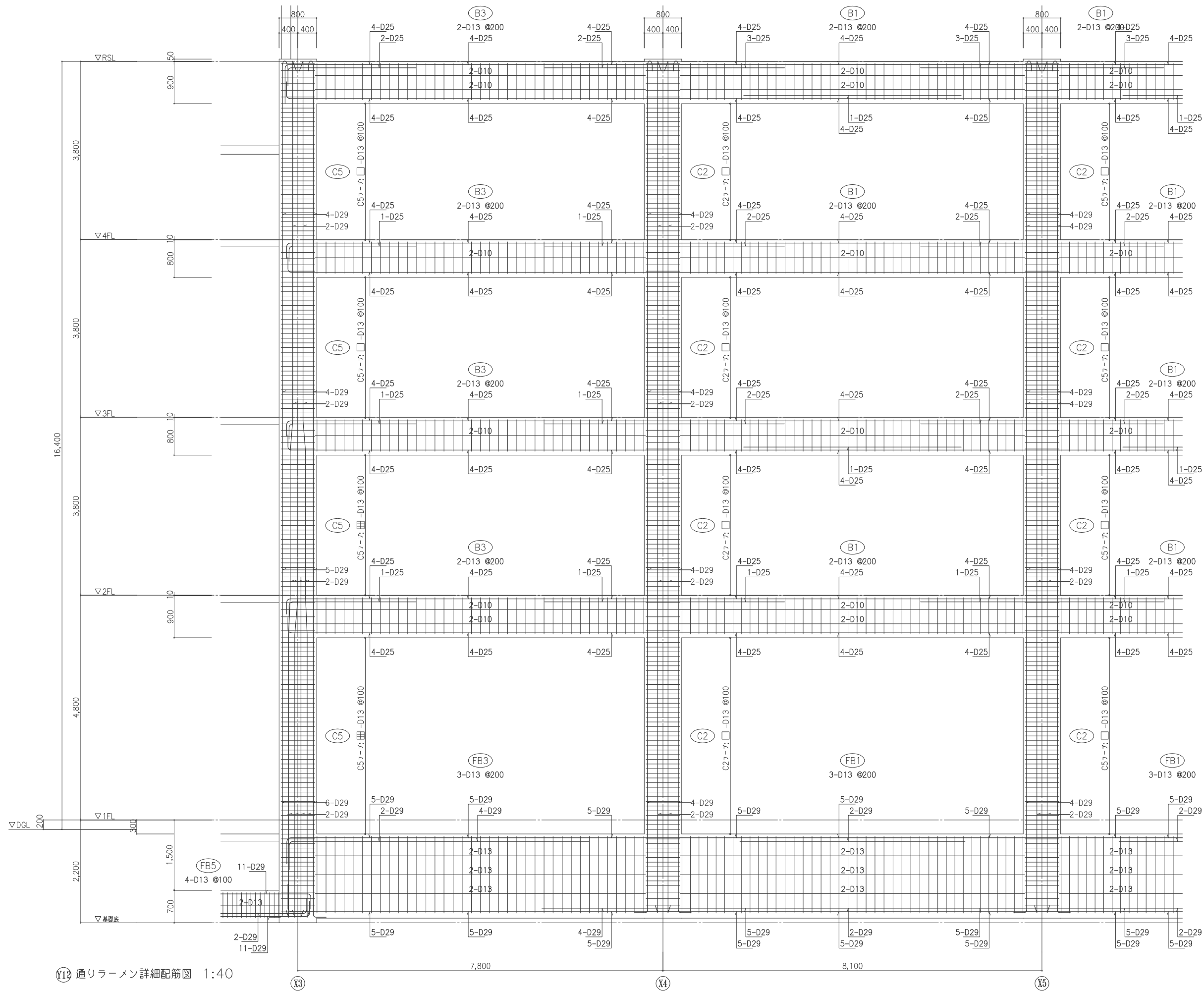
件名	岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校	
	校舎新築(建築)工事	

図面名称	小梁・片持梁断面リスト	

縮尺	A1版 1:40	
	A3版 1:80	

図面番号	S-078	

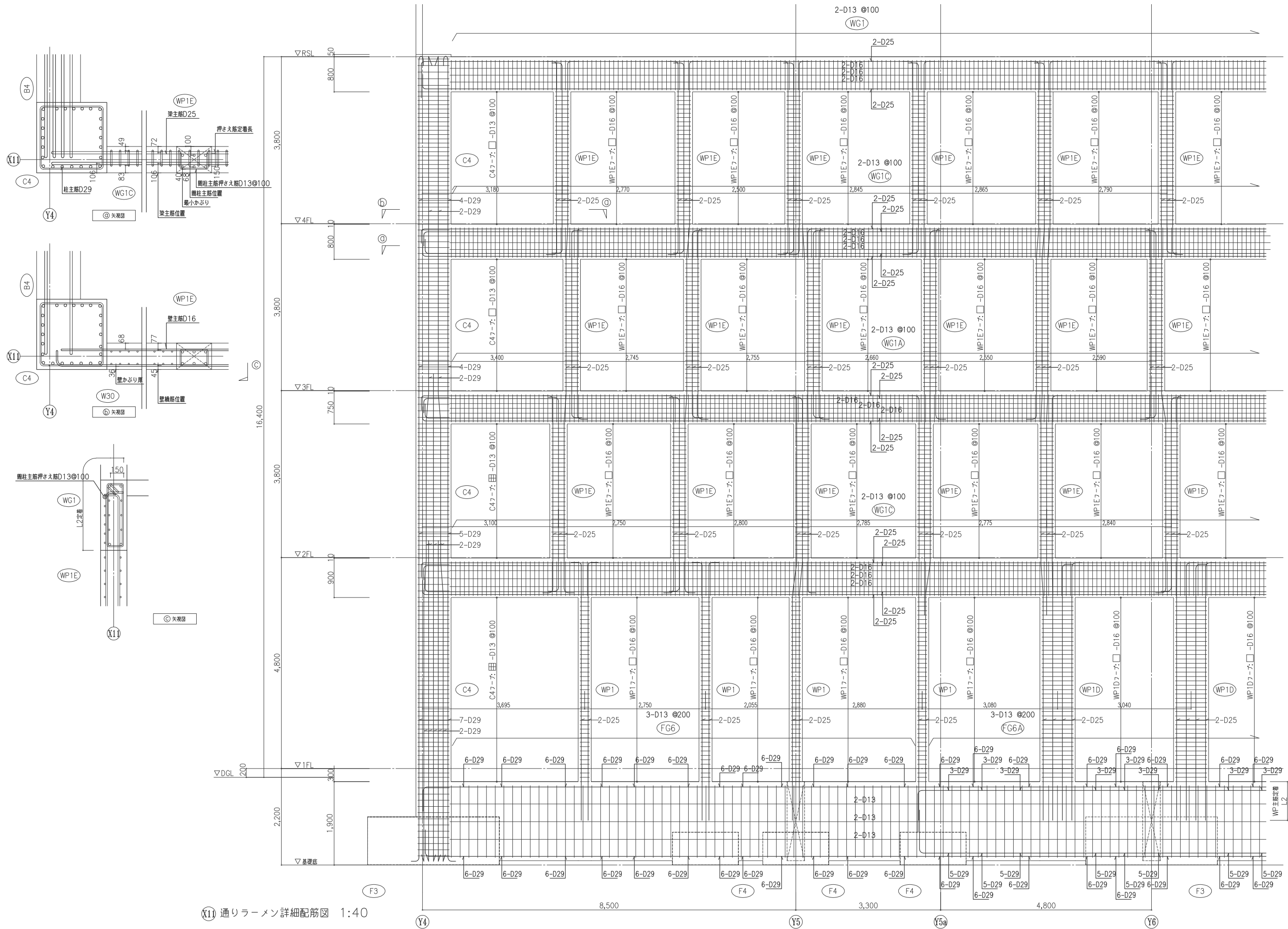
スラブリスト							階段リスト										片持ち階段配筋リスト												
形状	符号	厚さ	位置	短辺方向	長辺方向	備考	鉄骨階段リスト										配筋図												
							名 称	階段形状	ササラ形状	断面サイズ	継 手	段 板	踊場踏板（躍場リブ）	間 柱	中間踊場受梁	備 考	符号	手すり壁	t	持ち出し長さL	主筋								
一般スラブ 短辺方向 長辺方向	S15	t=150	上	D10,D13@200	D10@200		屋外階段1	直線階段	㊶	R-19X300	(ピン接合) GR-19 HTB 3-M16 (RC接合) BP-19×400×140 A.BOLT 2-M16	R-4.5	R-9 (R-12X270)	SP2	csb15W	・廊柱、中間踊場受梁の配置は伏図参照。 ・踊場部分中央のササラせいは270以上とする。 ・ササラ、小梁の納まりはタイプ ㊸ とする。 ・詳細図はS-082,083図による。	スラブ配筋 主筋 2-D13 D10@200 2-D13	SA1	あり	150	1500<L≦2000	2-D16							
	S15A	t=150	上	D13@150	D13@200																								
	S15B	t=150	上	D13@100	D10,D13@200																								
	S15C	t=150	上	D13@100	D13@100		屋外階段6	㊶	㊶	R-19X400	(ピン接合) GR-19 HTB 3-M16 (RC接合) BP-19×400×140 A.BOLT 2-M16	R-4.5 CT-75x150 x7x10	R-9 (R-12X270) PL-4.5	SP2,SP3	csb15W,sb20W	・詳細図はS-083図による。													
	S15D	t=150	上	D13@100	D13@100																								
	S15D	t=150	下	D13@100	D13@100																								
	S18	t=180	上	D13@200	D10@200		階段形状	タイプ ㊶	○を付したPLはササラ1と同厚のPLを現場溶接にて取り付ける。	踊場踏板 踊場リブ ササラ 段板 踊場リブ 踊場踏板 ササラ 踊場リブ ササラ																			



Y12 通りラーメン詳細配筋図 1:40

訂正	

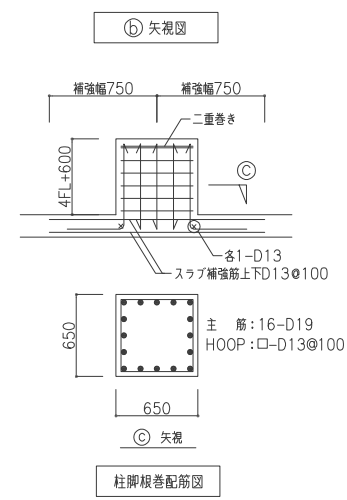
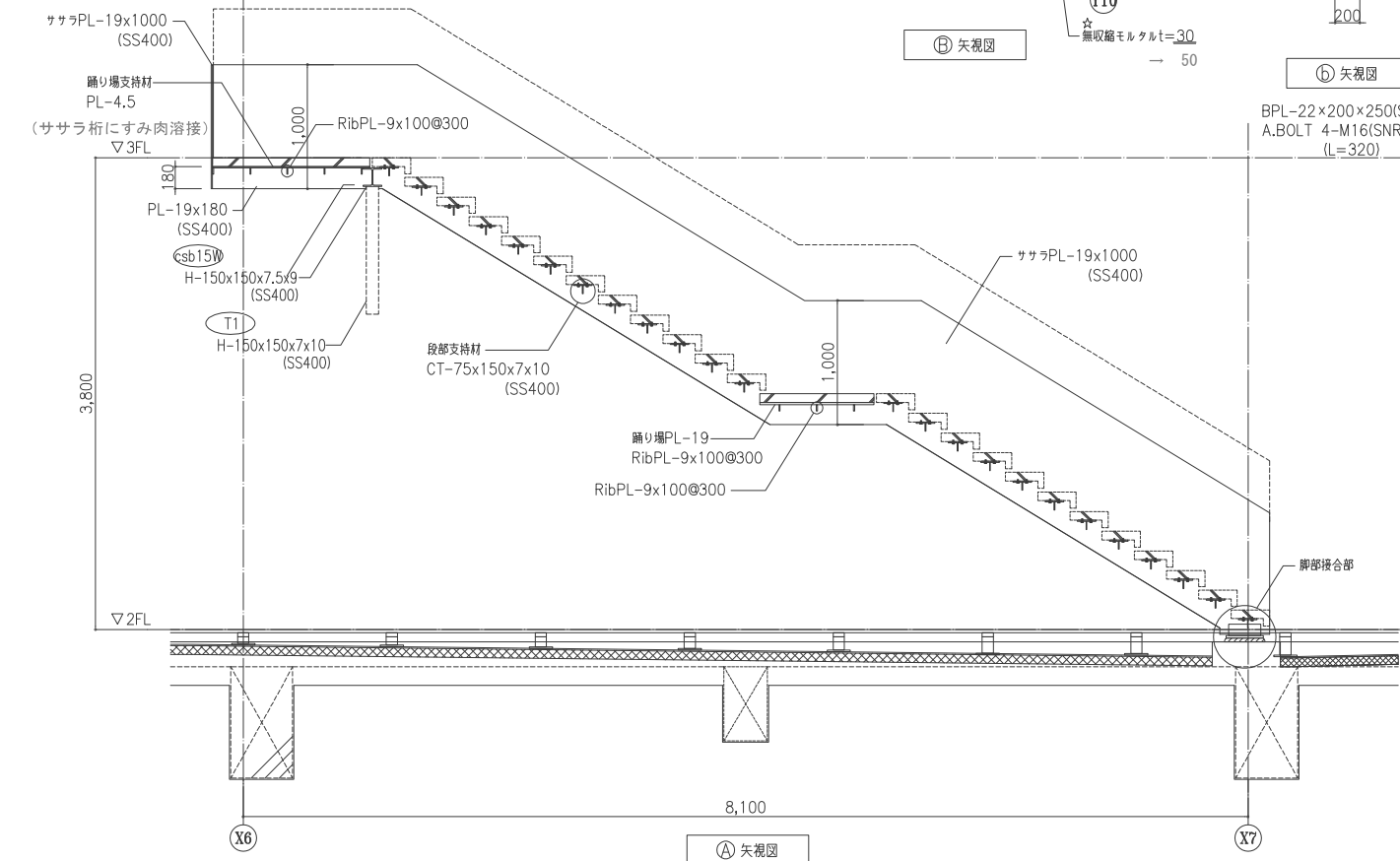
件名	岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校 校舎新築(建築)工事	縮尺	A1版 1:40 A3版 1:60	図面番号	S-080
図面名称	ラーメン詳細配筋図-1				



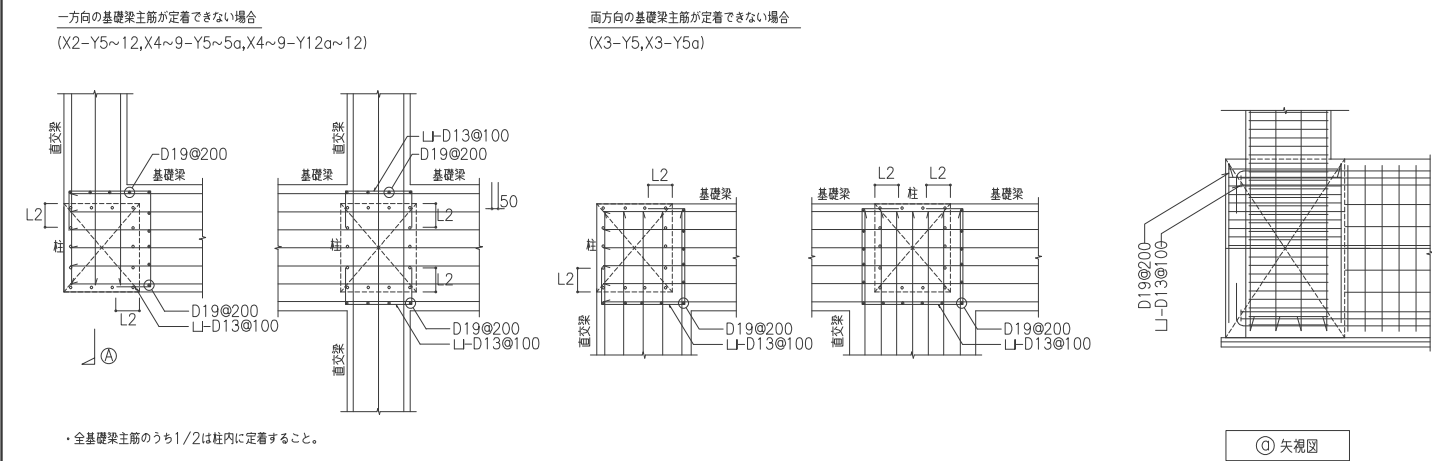
X11 通りラーメン詳細配筋図 1:40

訂正	・
	・
	・
	・

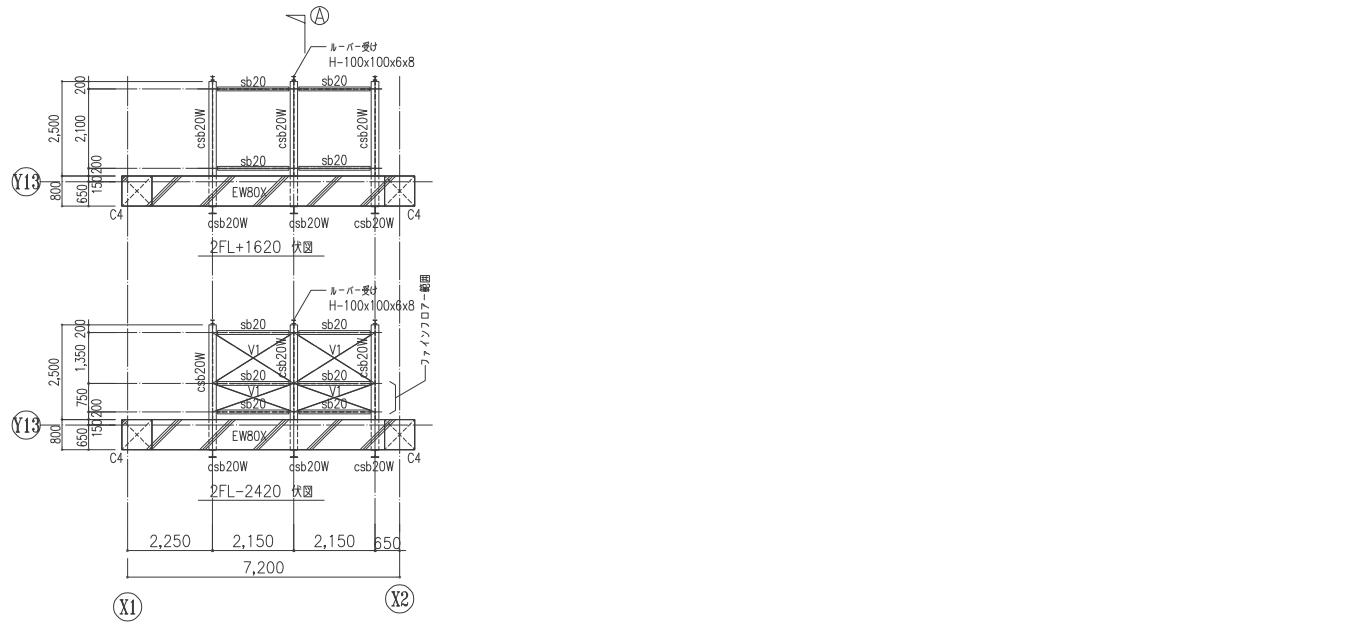
件名 岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校 校舎新築(建築)工事	縮尺 A1版 1:40 A3版 1:80	図面番号 S-081
図面名称 ラーメン詳細配筋図-2		



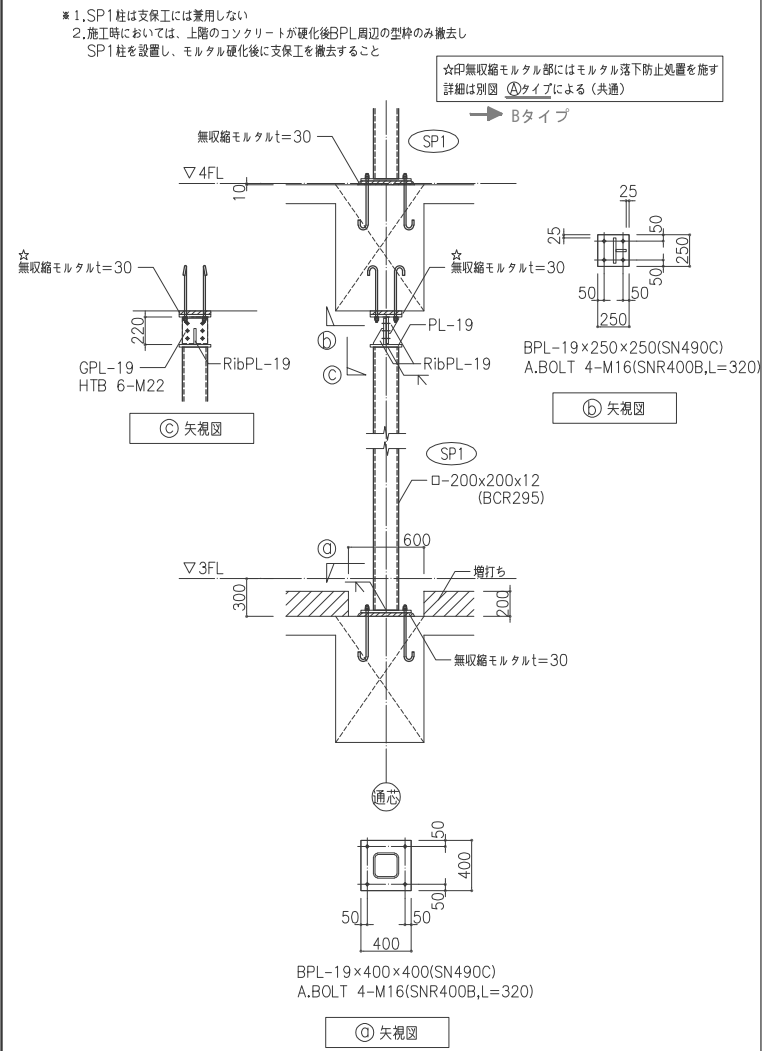
柱内に定着できない基礎梁主筋部配筋要領図



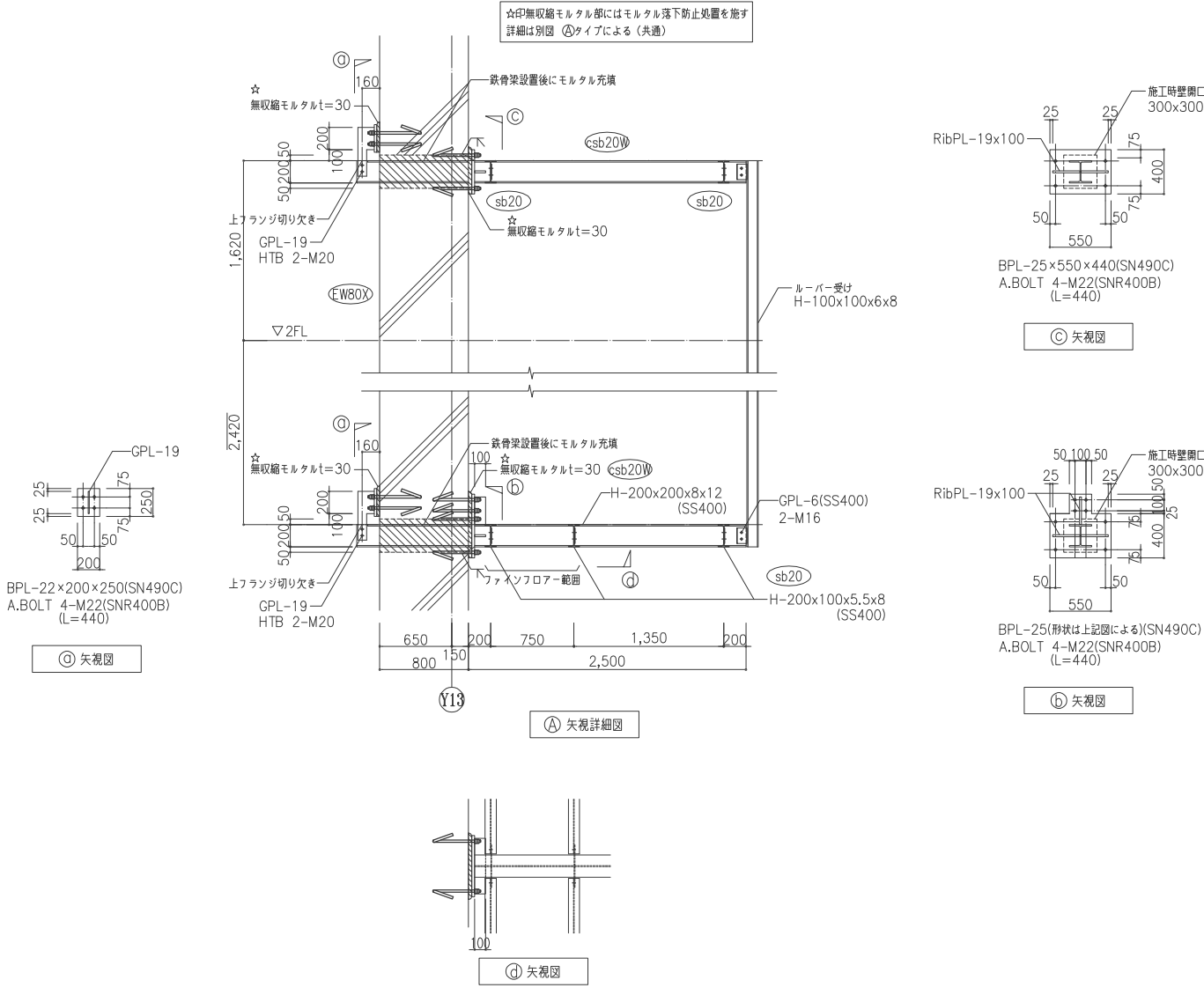
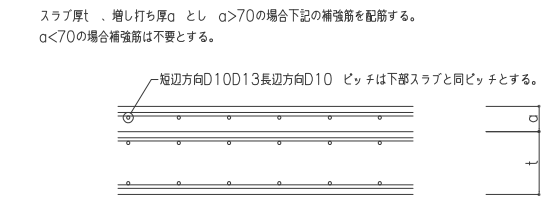
2階 屋外機器置場詳細図(外部露出部は全て垂鉛めっき)

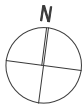


SP1 接合部詳細図



屋上スラブ上増し打ち部配筋要領図





屋上設備置き場鉄骨架台配置図 1:200

- 共通事項
特記なき限り下記による。
- | | |
|----|------------------------|
| 1. | は、架台用鉄骨部材を示す。 |
| 2. | 鉄骨位置は図面により、納まりは詳細図による。 |
| 3. | 破線で示す躯体はR階梁伏図を示す。 |



訂正	.
	.
	.
	.
	.

件名	岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校 校舎新築(建築)工事
図面名称	屋上設備置き場鉄骨架台配置図

縮尺	A1版1:200 A3版1:400
----	----------------------

図面番号	S-085
------	-------

3階梁貫通伏図 1:200

梁貫通 径及び本数				貫通部の耐火処理方法 耐火被覆 薄型貫通材		
径	マーク	貫通箇所				
		記載	記載外	合計	—	—
100φ		0	0	0		
150φ		1	0	1		
200φ		22	0	22		
250φ		189	0	189		
300φ		12	0	12		
350φ		0	0	0		
400φ		36	0	36		
450φ		0	0	0		
500φ		0	0	0		
550φ		0	0	0		
600φ		0	0	0		

薄型貫通材とは鉄骨梁貫通部における高性能薄型耐火被覆材を示し、パイロンバリアー、すりーふたすけ相当品とする。

